

平成27年度  
(2015年)

# 要 覧



(新築浦添市立教育研究所の外観(竣工 平成26年3月28日) 浦添小学校内 北側別棟)

## 浦添市立 教育研究所

〒901-2103 沖縄県浦添市仲間2丁目47番3号

電 話 (098) 876-7522  
F A X (098) 876-7222

適応指導教室 (098) 876-1234 (内線 6568)  
(あかひらステーションビル内)

## 太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市



市の人口（平成27年2月末日）

人口 114,399人  
男 55,920人  
女 58,479人  
世帯数 47,128世帯

### 市章

「無限に進展する平和郷」浦添市を象徴  
無限に進展する意はウの字の出部で表現、平和は  
ウラソエの4文字を円形に図案化して表現。

### 浦添市民憲章

わたしたちは、古い歴史と新しい希望にみちた  
てだこの都市浦添の市民としてこの憲章を定め誇  
りをもってその実践につとめます。

- 一、わたしたちは自然を愛し  
みどり豊かなまちをつくります
- 一、わたしたちはきまりを守り  
すみよいまちをつくります
- 一、わたしたちは働く喜びをもち  
活気にみちたまちをつくります
- 一、わたしたちは平和を愛し  
文化の香り高いまちをつくります
- 一、わたしたちは心と体をきたえ  
健康なまちをつくります

## 浦添市の教育目標

浦添市教育委員会は、個性の尊重を基本とし、  
国及び郷土「てだこの都市浦添」に誇りをもち、人  
間性豊かで国際性に富み、二十一世紀を拓く人  
材の育成を期して、次のことを目標に教育施策を  
展開する。

- 基礎基本を身につけ、自ら学び、心  
豊かでたくましく、个性的で創造性  
あふれる幼児児童生徒を育成する。
- 浦添市民憲章の精神に基づき、郷土  
を愛し、創造性・国際性に富み、人  
間性豊かな市民を育成する。
- 市民の連携感を育み、家庭・学校・  
地域社会・行政の相互連携のもとに  
まちづくり生涯学習社会を形成する。

## 目次

1	目的と運営方針	1
2	運営組織・事業体系	2
3	平成27年度 主要事業の概要	8
	・調査検査事業	8
	・研修・講座事業	9
	・適応指導教室運営事業	11
	・情報教育推進事業	12
	・資料・刊行事業	14
○	資料編	
	・教育研究所関係法規	15
	・適応指導教室運営事業関連	24
	・沿革	36
	・歴代所長・所員	42
	・教育研究員研究主題一覧	43
	・年間行事等予定表	53
	・研究所案内	55

# 1 目的と運営方針

## 目的

「浦添市立教育研究所設置条例」(昭和63年3月31日)に基づき、①教育に関する専門的、技術的事項の調査及び研究、②教育関係職員の研修、③教育に関する資料の収集、刊行及び利用、④適応指導教室運営、⑤その他教育の振興充実に関する事業を行います。

## 運営方針

### 1 学力検査等の実施と検査結果の活用促進

- 全国標準学力検査、Q-U検査結果の活用説明会・研修会を通して、学校、児童生徒の実態を的確に把握し、児童生徒理解及び教科の個別指導等[確かな学力]をつけさせる指導方法の工夫・改善の資料提供を行います。
- 現在及び新しい教育課題について、研究協力員による調査研究の実践資料を学校に提供します。

### 2 教職員の資質向上を図る研修・講座の実施

- 本市の学校教育の課題に対応し、教職員の資質向上を図るために、長期入所教育研究員の研修、学校の夏季休業中や放課後の時間を利用した短期の研修会等を開催します。

### 3 不登校等への対応(適応指導教室「いまあじ」の運営)

- 適応指導教室「いまあじ」において、不登校児童生徒に対する小集団での支援を行います。
- 浦添市不登校等児童生徒対策推進委員会及び沖縄県適応指導教室連盟との体験活動の合同開催、その他関係機関等との連携を図り、不登校児童生徒の自立心を高め、再登校の支援を行います。
- 浦添市内の不登校児童生徒を抱える保護者の交流会を実施し、保護者の支援を行います。

### 4 教育情報の提供、情報教育の推進

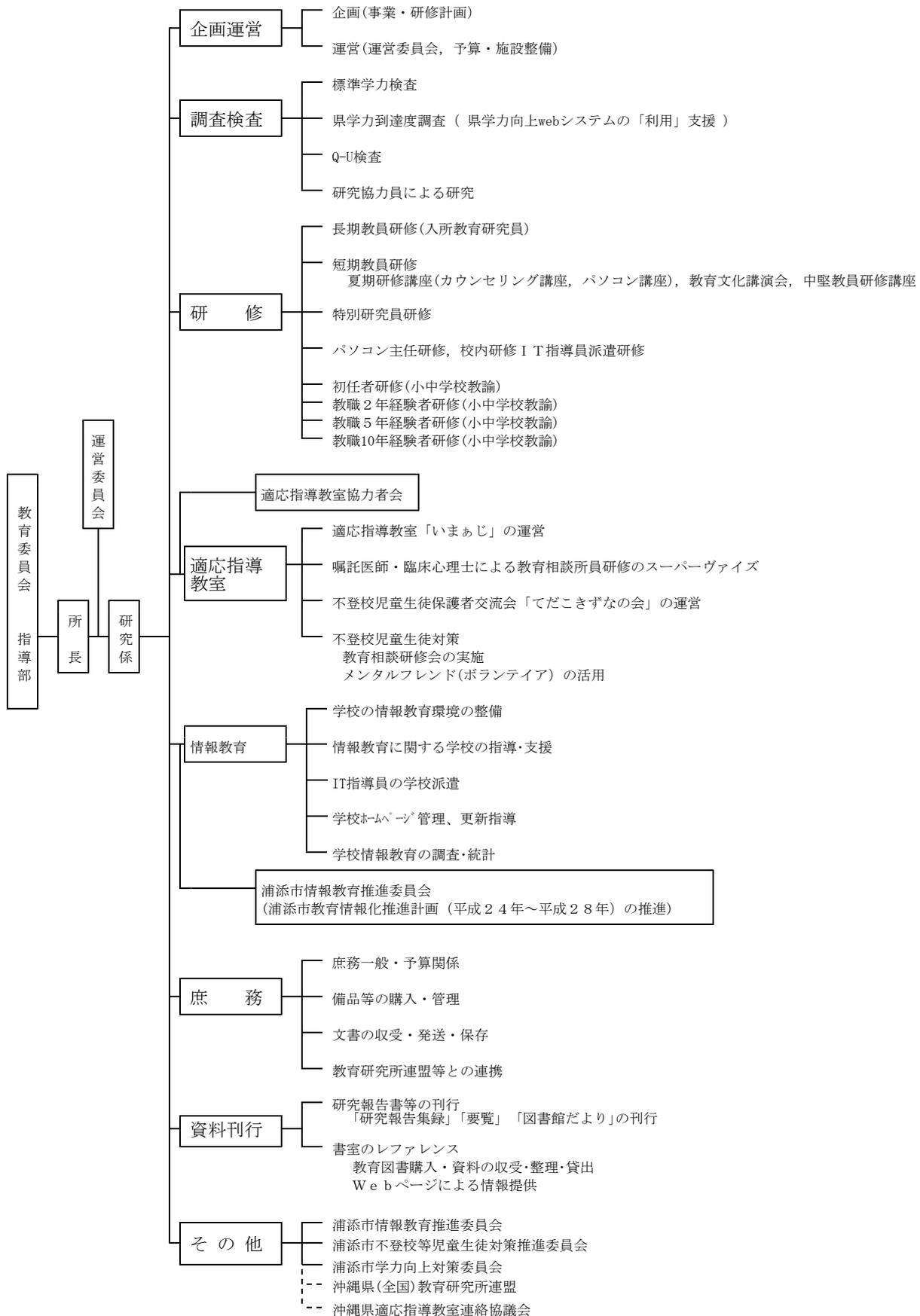
- 浦添市情報教育推進委員会「浦添市教育情報化推進計画」(平成24年～平成28年)の推進のもと、学校の教育用コンピュータの機器・関連備品の整備、ネットワーク管理・運用等の充実に努めます。
- 学校の情報教育に関する調査研究、コンピュータ主任研修会、学校ホームページの作成支援、IT指導員、ICT授業支援員の学校派遣、夏期コンピュータ研修講座の開設等により、コンピュータを活用した授業展開の支援に努めます。
- 校務の情報化・効率化支援

### 5 研究物の収集・刊行、教育図書等の貸出等の提供

- 教育実践研究図書、研究報告書(都道府県立教育センター・教育研究所等)、教育雑誌等の図書・資料を揃え、教職員・教育関係者・市民の閲覧、貸出に努めます。

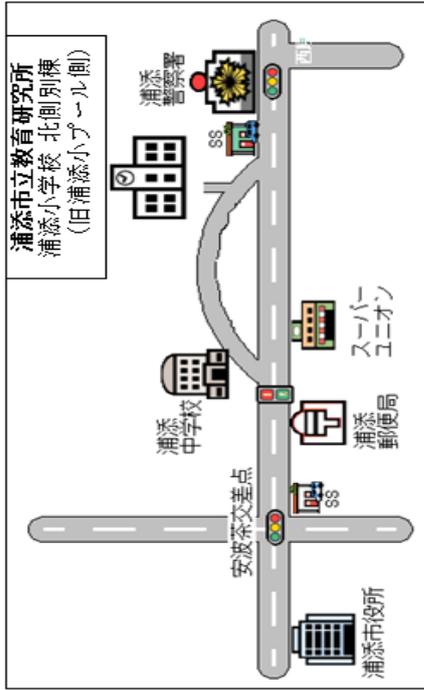
## 2 運営組織・事業体系

### 運営組織



浦添市立教育研究所事業実施体系

浦添市教育委員会  
指導部



教育研究所

長(非常勤) 仲西起實  
研究係長(県派遣) 日高 聡  
指導主事(県派遣) 美差 淳司  
情報担当主事 比嘉 健  
庶務担当主事 名城 めぐみ  
図書司書 慶田元順子

教育研究所運営委員会

平田 幹夫 琉球大学教育学部教授・大城 正 神森中学校校長  
・米盛 徳市 琉球大学教育学部講師・佐々木加奈子 浦添中学校教諭  
・根岡 章子 内間幼稚園副園長 ・金城 京子 総務課経理係長  
・石川 博基 当山小学校校長 ・大嶺 悟 学校教育課指導係長  
・浦添 充志 仲西小学校教諭 ・松田 孝 ことも育成係長

浦添市立教育研究所設置条例

昭和63年3月31日条例  
改正 平成22年3月26日条例第1  
改正 平成26年3月28日条例第1  
第3条 浦添市立教育研究所(以下「研究所」という。)は、次の各号に掲げる事業  
に教育に関する専門的、技術的事項の調査及び研究に関する事業  
(1) 教育関係職員の研修に関すること。  
(2) 教育関係職員の研修に関すること。  
(3) 教育に関する資料の収集、刊行及び利用に関すること。  
(4) その他教育の振興充実に関すること。

① 調査・検査

- 標準学力検査
- 県学力到達度調査
- Q-U検査
- 研究協力員研究(輪番制)  
浦添小、仲西小、神森小  
浦城小、浦添中、仲西中

適応指導教室協力者会

當間正和(校長代表) 港川中  
島袋 優(教頭代表) 前田小  
佐々木加奈子 浦添中  
伊波 桂 仲西中  
高良 朝彦 神森中  
宮城 武弥 港川中  
泉 健一郎 浦西中  
金城 陽子 仲西中  
金城 輝美 内間小  
内田 篤 学校教育課  
松田 孝 ことも青少年課  
松川友樹 " "  
佐久本千尋 " "

② 研修・講座

- 長期教員研修  
6月(H27.10.13~H28.3.31)  
神森幼稚園 玉城 友美  
浦添小学校 横井 孝弘  
港川中学校 南 正樹
- 短期教員研修  
(1) 夏期カウンセリング研修  
(2) 夏期情報教育研修  
(3) 中堅教員研修  
(4) 教育文化講演会(隔年実施)  
(5) その他 教科・領域関係講座
- 特別研究員研修  
神森中学校 喜久里成子
- 法定研修  
(1) 初任者研修  
(2) 10年経験者研修

③ 適応指導教室

- 適応指導教室の運営  
(1) 学習活動及び体験学習の実施  
(2) 入級生の登校支援  
(3) 専門家による相談  
(医師、臨床心理士等)  
(4) 研修会の開催
- 嘱託医師・臨床心理士による研修  
不登校児童生徒保護者交流会  
(てだこぎずなの会)
- 不登校児童生徒対策(研修・講座の実施)

適応指導教室「いまあじ」  
担当教諭 喜久里成子  
適応指導員 田端宏太郎  
適応指導員 長濱 祐子

スーパーヴァイザー  
嘱託医師 古田紀子  
嘱託臨床心理士 金城孝次

④ 情報教育

- 学校の情報教育環境整備  
(1) 幼小中のネットワーク管理、運用  
(2) 小中教育用PCの保守・管理  
(3) 小中PC関係備品整備  
(4) 校務の情報化支援
- 学校の指導・支援  
(1) 情報教育に関する調査研究  
(2) 研修会の実施  
(3) 校務支援システム運用支援
- IT指導員の学校派遣
- 学校ホームページ管理、更新指導
- 学校情報教育の調査・統計

⑤ 研究物の刊行等

- 研究報告書等の刊行  
(1) 研究報告集録  
(2) 研究所「要覧」  
(3) 図書だより  
(4) その他
- 図書室のレファレンス  
(1) 研究報告書  
(2) 蔵書検索  
(3) 教材コンテンツ  
(4) Webページによる情報提供  
(5) その他

浦添市情報教育推進委員  
委員長:池原寛安(教育長) 副委員長:山田宏(指導部長)  
平良 淳(総務課長) 仲間陽子(学務課長)  
平良 亮(学校教育課長) 比嘉敏明(情報政策課長)  
吉野 淳(小学校長代表) 玉城 基(中学校長代表)  
仲西起實(教育研究所所長)

IT指導員 國吉伸明 本間佳多倫 山本久美子

図書司書

# 所員名・所務分掌

職名	氏名	主な分掌事務内容
所長 (非常勤特別職)	仲西 起實	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所業務の統括・企画運営に関すること</li> <li>2 教育委員会・関係機関等との連絡調整に関すること</li> <li>3 研究所運営委員会に関すること</li> <li>4 教育研究員の指導に関すること</li> <li>5 教育研究所連盟及び適応指導教室協議会の連絡調整に関すること</li> </ol>
研究係長 (県派遣指導主事)	日高 聡	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所業務の実施、計画に関すること</li> <li>2 予算編成・決算に関すること</li> <li>3 関係機関等との連絡調整に関すること</li> <li>4 教育研究所運営委員会に関すること</li> <li>5 標準学力検査・QUアンケートに関すること</li> <li>6 諸調査・検査に関すること</li> <li>7 研修講座(資質向上, 教科等)に関すること</li> <li>8 教育研究員の募集及び入所事務に関すること</li> <li>9 教育研究員の研修及び指導に関すること</li> <li>10 教育研究所研究協力員の運営に関すること</li> <li>11 5年・10年経験者研修に関すること</li> <li>12 教育文化講演会に関すること(隔年)</li> <li>13 適応指導教室に関すること</li> <li>14 浦添市不登校等児童生徒対策委員会に関すること</li> <li>15 研究所刊行物(要覧, 研究員・教育相談報告書)に関すること</li> <li>16 教育研究所日誌に関すること</li> <li>17 県総合教育センター版中学校校務支援システムに関すること</li> <li>18 ICT機器整備事業に関すること</li> </ol>
指導主事 (県派遣指導主事)	美差 淳司	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所行事等に関すること</li> <li>2 予算編成に関すること</li> <li>3 浦添市情報教育(ICT活用・情報モラル教育・情報セキュリティ対策等)に関すること</li> <li>4 浦添市教育情報化推進計画(平成24年～28年)に関すること</li> <li>5 浦添市情報教育推進委員会に関すること</li> <li>6 研修講座(コンピュータ講座)に関すること</li> <li>7 コンピュータ主任研修会に関すること</li> <li>8 教育研究所研究協力員の企画・運営に関すること</li> <li>9 教育研究員の指導・所外研修に関すること</li> <li>10 初任者・2年・3年経験者研修に関すること</li> <li>11 諸調査・検査に関すること</li> <li>12 県学力到達度調査に関すること</li> <li>13 適応指導教室の支援に関すること</li> <li>14 県総合教育センター版小学校校務支援システムに関すること</li> <li>15 沖縄県学力向上Webシステムの「利用」に関すること</li> <li>16 ICT機器整備事業の連絡調整に関すること</li> <li>17 IT指導員の連絡・調整に関すること</li> </ol>

主任主事 IT関係事務担当	比嘉 健	1 学校の教育用コンピュータの整備・管理・修繕に関すること
		2 学校図書館用コンピュータの整備・管理・修繕に関すること (1, 2の無償貸渡機器の再配置及び管理)
主 事 庶務担当	名城 めぐみ	3 幼小中学校の教育用ネットワークの指導、整備・管理・修繕に関すること
		4 浦添市情報教育推進委員会の事務補助に関すること
司 書	慶田元 順子	5 浦添市情報セキュリティポリシーに関すること
		6 研究所広報(ホームページ、広報紙)、学校ホームページの管理・指導に関すること
適 応 指 導 教 室	喜久里 成子	7 教育用教材の収集及び地域イントラを利用した「きょうざいのお部屋」の管理に関すること
		8 ICT機器整備事業における事務・整備に関すること
指 導 担 当 教 諭 (特別研究員)	喜久里 成子	1 予算の執行等に関すること
		2 庶務に係る執行・整理・報告に関すること
適 応 指 導 教 室	田端 宏太郎	3 文書收受・発送・保存に関すること
		4 備品・消耗品等購入計画及び管理に関すること
適 応 指 導 教 室	長濱 祐子	5 予算・決算に関すること
		6 教育研究員研究活動に係る支援に関すること
I T 指 導 員	國吉 伸明	1 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		2 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	本間 佳多倫	3 研究図書・資料等の紹介に関すること
		4 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	5 所業務に係る支援に関すること
		6 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	7 研究物の収受・整理・発送に関すること
		8 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	9 図書室だよりの刊行に関すること
		10 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	11 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		12 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	13 研究図書・資料等の紹介に関すること
		14 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	15 所業務に係る支援に関すること
		16 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	17 研究物の収受・整理・発送に関すること
		18 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	19 図書室だよりの刊行に関すること
		20 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	21 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		22 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	23 研究図書・資料等の紹介に関すること
		24 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	25 所業務に係る支援に関すること
		26 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	27 研究物の収受・整理・発送に関すること
		28 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	29 図書室だよりの刊行に関すること
		30 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	31 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		32 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	33 研究図書・資料等の紹介に関すること
		34 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	35 所業務に係る支援に関すること
		36 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	37 研究物の収受・整理・発送に関すること
		38 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	39 図書室だよりの刊行に関すること
		40 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	41 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		42 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	43 研究図書・資料等の紹介に関すること
		44 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	45 所業務に係る支援に関すること
		46 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	47 研究物の収受・整理・発送に関すること
		48 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	49 図書室だよりの刊行に関すること
		50 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	51 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		52 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	53 研究図書・資料等の紹介に関すること
		54 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	55 所業務に係る支援に関すること
		56 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	57 研究物の収受・整理・発送に関すること
		58 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	59 図書室だよりの刊行に関すること
		60 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	61 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		62 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	63 研究図書・資料等の紹介に関すること
		64 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	65 所業務に係る支援に関すること
		66 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	67 研究物の収受・整理・発送に関すること
		68 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	69 図書室だよりの刊行に関すること
		70 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	71 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		72 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	73 研究図書・資料等の紹介に関すること
		74 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	75 所業務に係る支援に関すること
		76 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	77 研究物の収受・整理・発送に関すること
		78 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	79 図書室だよりの刊行に関すること
		80 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	81 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		82 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	83 研究図書・資料等の紹介に関すること
		84 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	85 所業務に係る支援に関すること
		86 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	87 研究物の収受・整理・発送に関すること
		88 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	89 図書室だよりの刊行に関すること
		90 所業務に係る支援に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	91 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
		92 研究物の収受・整理・発送に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	93 研究図書・資料等の紹介に関すること
		94 図書室だよりの刊行に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	95 所業務に係る支援に関すること
		96 研究図書資料等の整理・保管及び貸出しに関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	97 研究物の収受・整理・発送に関すること
		98 研究図書・資料等の紹介に関すること
I T 指 導 員	山本 久美子	99 図書室だよりの刊行に関すること
		100 所業務に係る支援に関すること

# 事業概要

	事業名	内容	対象等
調査・検査	1 標準学力検査 (国・算 国・数)	○標準基礎学力の実態把握と学習指導の改善・充実のための資料の提供 (4月中旬実施)	小学校3、5年生 中学校2年生
	2 沖縄県学力到達度調査	○沖縄県到達度調査に関わる業務 (2月) 小学校3年生 (国・算) 小学校5年生 (国・算・理) 小学校4・6年生 (算数) 中学1年生 (数学)、2年生 (国数英社理)	小学校3～6年生 中学校1, 2年生
	3 Q-Uアンケート	○望ましい学級集団づくりや個に対応した指導のデータ提供 (5月下旬実施)	中学校1年生
	4 研究協力員による研究	○現在及び新しい教育課題に対応するための調査研究を行い学校等への資料の提供。	教員に委嘱「PCや電子黒板iPad等を活用した実践研究」
研修・講座	1 長期教員研修	○応募により6か月間入所して各自の主題に基づく理論及び実践研究	市立幼稚園・小中学校教職員
	2 短期教員研修 (1) 夏期カウンセリング講座 (2) 情報教育関係研修 ・夏期コンピュータ講座 ・要請に応じた講座 (3) コンピュータ主任研修会 (4) 中堅教員研修講座 (5) 教育文化講演会 (隔年) (6) その他	○教職員と児童生徒、児童生徒相互の望ましい人間関係を確立するための理論・演習 ○教職員のコンピュータ操作及び情報活用能力を高め、コンピュータを活用した授業の工夫・改善。 ○学校の訪問要請により、IT指導員を校内研修会の講師として派遣し、コンピュータを活用した情報教育を推進 ○学校教育活動推進の中核を担う中堅教員の資質向上を図る。 ○県外等の講師招聘による教育講演会	市立幼稚園・小中学校教職員  本年度は3人派遣  教職員, 保護者等
	3 特別研究員研修	○適応指導教室おいての不登校児童生徒の学校登校の支援に関する研究	市立小中学校教職員
	4 法定研修等の運営	○初任者研修に関わる業務 ○教職2, 3年経験者研修に関わる業務 ○教職5年経験者研修に関わる業務 ○教職10年経験者研修に関わる業務	小中教諭
適応指導教室	1 「適応指導教室」の運営	○不登校児童生徒の自主性、社会性を高め、学校復帰の支援 ・集団適応指導、体験活動を通して自主性・社会性を育み集団生活への適応を促す。 ・こども青少年課こども育成係との連携	市内小中学校児童生徒・保護者 適応指導教室通級児童生徒
	2 専門家の委嘱と活用	○専門家による保護者、児童生徒への教育相談	適応指導教室運営スタッフ 通級児童生徒 通級児童生徒保護者
	3 不登校等児童生徒保護者交流会「てだこきずなの会」運営	○不登校児童生徒を抱える保護者への支援	
	4 不登校児童生徒対策 (1) 研修会・講座の実施 (2) メンタルフレンド活用	○不登校等児童生徒対策委員会と連携した対策の実施 ・教職員、保護者等を対象とした研修・講座の開催 ・メンタルフレンドを活用した支援	いまあじ対応
情報教育	1 学校の情報教育環境の整備と指導	○「教育情報化推進計画 (平成24年度～28年度)」の推進	市立幼稚園、小中学校
	2 学校の指導・支援	・幼小中のネットワーク管理、運用	
	3 IT指導員の学校派遣	・小中教育用PCの保守・管理	
	4 学校ホームページの管理、更新指導	・小中PC関係備品整備・学校HPの管理、作成指導	
	5 情報教育の調査・統計	○コンピュータを活用した授業の支援	
	6 浦添市情報教育推進委員会の運営	○コンピュータの教育利用, 教職員スキル等の調査	
研究物刊行等	1 研究報告書等の刊行	○長期教育研究員及び特別教育研究員の研究成果の刊行。	県内外の教育機関・関係者へ送付  市立幼稚園、小中学校へ送付
	2 図書室のレファレンス	○研究協力員の研究成果の収録。 ○研究所の組織・事業内容等の紹介。 ○所図書室の新着図書資料等の紹介。 ○ホームページによる情報提供。	

## 利用案内

### 適応指導教室

小集団での体験・学習活動を通して自立心を育て、集団生活への適応力を高め再登校できるようにする。

#### 1 対象児童生徒

心理的要因等による不登校で、適応指導教室に通う意思があり、適応指導教室での指導が望ましいと考えられる児童生徒。

#### 2 指導援助目標

不登校児童生徒の「心の居場所」となり、自立性・社会性を育成しながら、一人一人の成長を図り、集団生活への適応力を高め、学校復帰をめざす。

#### 3 場 所 あかひらステーションビル3階

### 図 書 室

(図書・資料の貸出、教材研究室としても利用可能)

教育関係図書、教育研究実践資料(都道府県教育研究所・教育センター、研究報告書等)、教育雑誌・新聞等を整備し、教育関係者等の閲覧に供する。

1 開館時間 月曜日～金曜日(祝日、年末年始は除く)午前8時30分から午後5時15分まで。

2 返 本 返本用ポスト(研究所入口に常設)

3 場 所 浦添市立教育研究所内

4 照 会 Web蔵書検索システムや電話・FAXにより問い合わせる。

### 研 修 室

1 収容人員	研修室1 20名程度収容可	} パーティションを開放すると約70名収容可能な大研修室となります。
	研修室2 15名程度収容可	
	PC研修室 15名程度収容可	

2 利用可能時間 月曜日～金曜日(祝日、年末年始は除く)午前9時～午後5時

3 利用対象者 教職員及び教育関係者の研修や研究会等。

4 利用手続き 電話等での予約。

# 3 平成27年度 主要事業の概要

## 調査・検査事業

### 1 標準学力検査

#### (1) 目的

「全国標準学力検査」の結果をもとに、各学校が、学校・学級、個々の児童生徒の学習達成状況を客観的に把握し、学習指導計画、個に応じた学習指導の改善充実に資する。

#### (2) 実施教科、学年

小学校 国語，算数 第3・5学年の全児童  
中学校 国語，数学 第2学年の全生徒

#### (3) 実施時期 4月研究所の事業説明会において実施説明。4月下旬に各学校の計画で実施する。

#### (4) 検査結果の活用説明会

##### ①「検査結果活用説明会」

実施時期：検査実施後1か月以内に説明会を実施する。

受講対象：小学校3，5年の学年主任・学級担任。教頭又は学力向上推進担当者。  
中学校2年の学年主任と実施教科担当教諭。教頭又は学力向上推進担当者。

活用内容：診断的評価，年間指導計画，個別指導資料として活用する。

※ 調査結果の活用について，上記の説明会の外に，市指導主事会の研修会，市校長連絡協議会，市教頭連絡会等で説明し，活用促進を図る。

### 2 沖縄県学力到達度調査

#### (1) 目的

沖縄県学力到達度調査は、本県の児童生徒一人一人の基礎的・基本的な知識・技能及びこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の定着状況を把握するとともに、各学校における授業改善の充実に資するため実施する。

#### (2) 実施日 当該学年の「2月」実施

#### (2) 実施学年

小学校：3年(国・算)、4年(算数)、5年(国・算・理)、6年(算数)

中学校：1年(数学)、2年(国社数理英)

### 3 Q-Uアンケート

#### (1) 目的

児童生徒の学校・学級生活への不適応、不登校、いじめ被害の可能性の高い子どもを早期に発見し、望ましい学級集団づくりや個に対応した指導の資料に供する。

#### (2) 実施学年

中学校1学年の全員 ※小学校はアセスメント「アセス」を活用

#### (3) 実施時期

5月下旬に実施。(研修会を開催予定)

### 4 研究協力員による研究

#### (1) 目的

本市の教育課題に対応するための、研究協力員を委嘱してその年度のテーマを設定し、実践研究を行い、その成果を指導事例集として刊行する。本年度は、電子教科書を活用した教育実践を報告書にまとめ、その実践内容を共有することにより、「わかる授業」の実践に役立てる。

#### (2) 研究協力員派遣校(平成24年度より輪番制)

テーマ：P Cや電子黒板・i P a d等のICT機器を活用した実践報告

輪番校：浦添小、仲西小、神森小、浦城小、浦添中、仲西中

(5月に発足式、10月～3月実施)

# 研修・講座事業

## 1 長期教員研修

### (1) 趣 旨

学習指導等の学校教育の課題及び浦添市立幼稚園・小中学校の教育課題を解決、改善していくために、研究対象教科等に関する理論及び実践力等の資質の向上を図り、浦添市の学校教育の充実に資する人材を育成する。（「長期教員研修事業『教育研究員』実施要項」を参照）

### (2) 教育研究員は、学校・園長の推薦で応募、教育委員会が選考・決定し、6か月研究所に入所研究を行う。

教育研究員は研究所の指導助言のもと、各自の研究課題に即した実践研究を行い、研究成果を公開発表するとともに、研究報告書を作成する。

その間、教育研究員は、次の研修講座を受講する。

<教育研究員の受講する主な研修講座等>

- ① 基礎講座Ⅰ 「研修の心得」
- ② 基礎講座Ⅱ 「服務について」「授業参観」
- ③ 基礎講座Ⅲ 「研究論文の書き方」
- ④ 基礎講座Ⅳ 「研究仮説のたて方」
- ⑤ 基礎講座Ⅴ 「コンピュータ講座、効果的なプレゼンテーション講座」
- ⑥ 基礎講座Ⅵ 「研究員の研究内容に対応した講座」
- ⑦ テーマ検討会 所内での検討会、教育委員会全指導主事・関係教科指導員との検討会
- ⑧ 中間報告会 上に同じ
- ⑨ 検証授業・授業反省会 所員、関係指導主事等
- ⑩ 研究成果報告会 教育委員、関係園・校長、学校職員
- 所外研は、教員としての知見を広めることを目的に5回程度実施する。

## 2 短期教員研修

### (1) 夏期カウンセリング講座

教育関係者対象に、カウンセリングの基礎、実践できる講座を開催する。

① カウンセリングの基礎……大学教員等の研究者、専門家講師による2日連続講座

② 構成的グループエンカウンタ……臨床心理士等の専門家講師による1日講座

※ カウンセリングの基礎的手法や、学級でできるカウンセリングの具体的技法を取り入れる。

※ 両講座とも学校配置の「教育相談員(心の教室相談員)」等も含めた講座とする。

③ ライオンズクエストセミナー…思春期のライフスキル教育を専門家が行う2日連続講座。

### (2) 夏期情報教育関係研修

○ 教師のPC操作能力の向上と授業における効果的な活用を推進するため研修講座を行う。

### (3) コンピュータ主任研修会

### (4) 中堅教員研修講座

○ 中堅教員研修講座を通して、学校教育活動推進の中核を担う中堅教員の資質向上を図り、学校運営に主体的に参画できる人材を育成する。

### (5) 教育文化講演会（隔年実施）【次回は平成29年度実施予定】

○ 学校教育の今日的課題、我が国の教育の動向等、教育全般の課題について、県外の専門家を講師招聘した講演会を行うことにより、教職員の指導力及び資質の向上を図り、本市学校教育の充実に資する。

(6) その他

- ① 幼稚園教諭研修（副園長養成）
- ② 教科等講座
- ③ 研究成果報告会
- ④ 学校要請訪問による校内研修（出前研修）

3 特別研究員研修

- (1) 適応指導教室「いまあじ」の運営に関する研究
- (2) 不登校児童生徒の登校支援に関する研究

4 法定研修等の運営

(1) 初任者研修

- ① 浦添市初任者研修 2 回【 小中学校教諭（養護教諭・栄養教諭除く）】
- ② 研修報告書等のとりまとめ【 小中学校教諭（養護・栄養教諭 一部含む, 県の実施要項参照）】

(2) 教職 2 年経験者研修

- ① 研修報告書等のとりまとめ

(3) 教職 3 年経験者研修

- ① 研修報告書等のとりまとめ

(4) 教職 5 年経験者研修

- ① 研修報告書等のとりまとめ【 小中学校教諭（養護・栄養教諭 一部含む, 県の実施要項参照）】

(5) 教職 10 年経験者研修

- ① 主事要請授業研等への対応
- ② 研修報告書等のとりまとめ【 小中学校教諭（養護・栄養教諭 一部含む, 県の実施要項参照）】

# 適応指導教室運営事業

- 目的
- 不登校児童・生徒の学校復帰の支援と自立性・社会性の育成を図る。
  - 心理的要因を不登校の主要因とし、学校、保護者及び「こども青少年課 こども育成係」教育相談室等から「適応指導教室」での指導・支援が望ましいとされた児童生徒に対して、小集団生活・学習の指導・支援を行う。

## 1 適応指導教室「いまあじ」の運営

- ・ 集団適応指導（スポーツ・ゲーム，創作活動(生け花教室含む)，農園活動，調理実習等の人間関係づくり，奉仕活動，地域や自然探索等の体験活動，進路面での体験学習)
  - ・ 宿泊体験学習（渡嘉敷青年の家，名護少年自然の家 他)
  - ・ 学習指導 ・ パソコン学習
  - ・ 教育相談（教育相談を設定，児童生徒・保護者への教育相談，訪問による教育相談，体験入級等の教育相談，等)
  - ・ 保護者会の開催
- 適応指導教室協力者会  
適応指導教室の学級経営や児童生徒の指導援助の効果的な在り方等に関する協議を行う。

## 2 嘱託の医師，臨床心理士の委嘱（スーパーヴァイザー）

嘱託の医師と臨床心理士等の専門家が，適応指導教室運営スタッフに対する研修・助言を行うとともに，教育研究所から依頼を受けた児童生徒，保護者，教職員の教育相談にあたる。

## 3 不登校児童生徒保護者交流会「てだこきずなの会」

不登校児童生徒の保護者同士の交流会を開催し、児童生徒への理解を深め、悩みを共有することによりこどもへの理解と接し方を学び心の安定を図る。  
臨床心理士等の専門家から指導助言を受け、こどもの実態に応じた援助に役立てる。

※ 詳細は、「資料編」参照

## 4 不登校児童生徒対策

- ・ 研修会・講座の実施
- ・ メンタルフレンド活用

# 情報教育推進事業

## 1 学校の情報教育環境の整備

- (1) 幼小中のネットワーク管理、運用
- (2) 小中教育用コンピュータの配置・活用・保守管理(ヘルプデスクと連携)
- (3) 小中パソコン関係備品整備
- (4) 小中の校務の情報化による効率化の支援

## 2 学校の指導・支援

- (1) 情報教育に関する調査・研究
  - ① コンピュータ利用状況調査(年1回)
  - ② 児童生徒コンピュータスキル調査
  - ③ その他県・文科省の調査
- (2) 情報教育研修会の実施
  - ① コンピュータ主任研修会  
本市及び各学校における情報教育の取り組みについて、情報交換を行い、情報教育推進のために共通認識を図る場とする。
  - ② 管理職コンピュータ講座  
本市におけるメールのシステム及び学校における情報教育の推進について理解し、活用するための管理職(校長・教頭)対象講座
  - ③ 夏期コンピュータ講座  
全ての教師がコンピュータで指導できることを目指して、またさらなるスキルアップを図るための講座。(ICT活用、地デジテレビ/周辺機器活用、電子黒板、動画編集、エクセル、パワーポイント、新メールシステム(aipo)等)
  - ④ 要請に応じた研修(IT指導員派遣、各学校校内研修及び学年会等)  
各学校で企画されるコンピュータ研修会へIT指導員を派遣し、本市教職員のコンピュータ技能等の向上に寄与する。
  - ⑤ 県立総合教育センター版「校務支援(児童生徒情報管理)システム」運用支援  
「校務支援(児童生徒情報管理)システム」のサーバ機、バックアップシステムなどの機器管理及び、データ入力の手助けを行うことにより、校務の情報化と効率化を促進し、教員が児童生徒に向き合う時間増に寄与する。
  - ⑥ その他

## 3 IT指導員の学校派遣

IT指導員を学校に派遣し、市内の小中学校に配備されたコンピュータの保守点検やウィンドウズアップデート、軽微な修繕、構築を行う。また、配備されたコンピュータやその周辺機器の活用方法について講師を務める。(小中学校16校に3名のIT指導員を、1週間のローテーションで各学校に派遣する。)

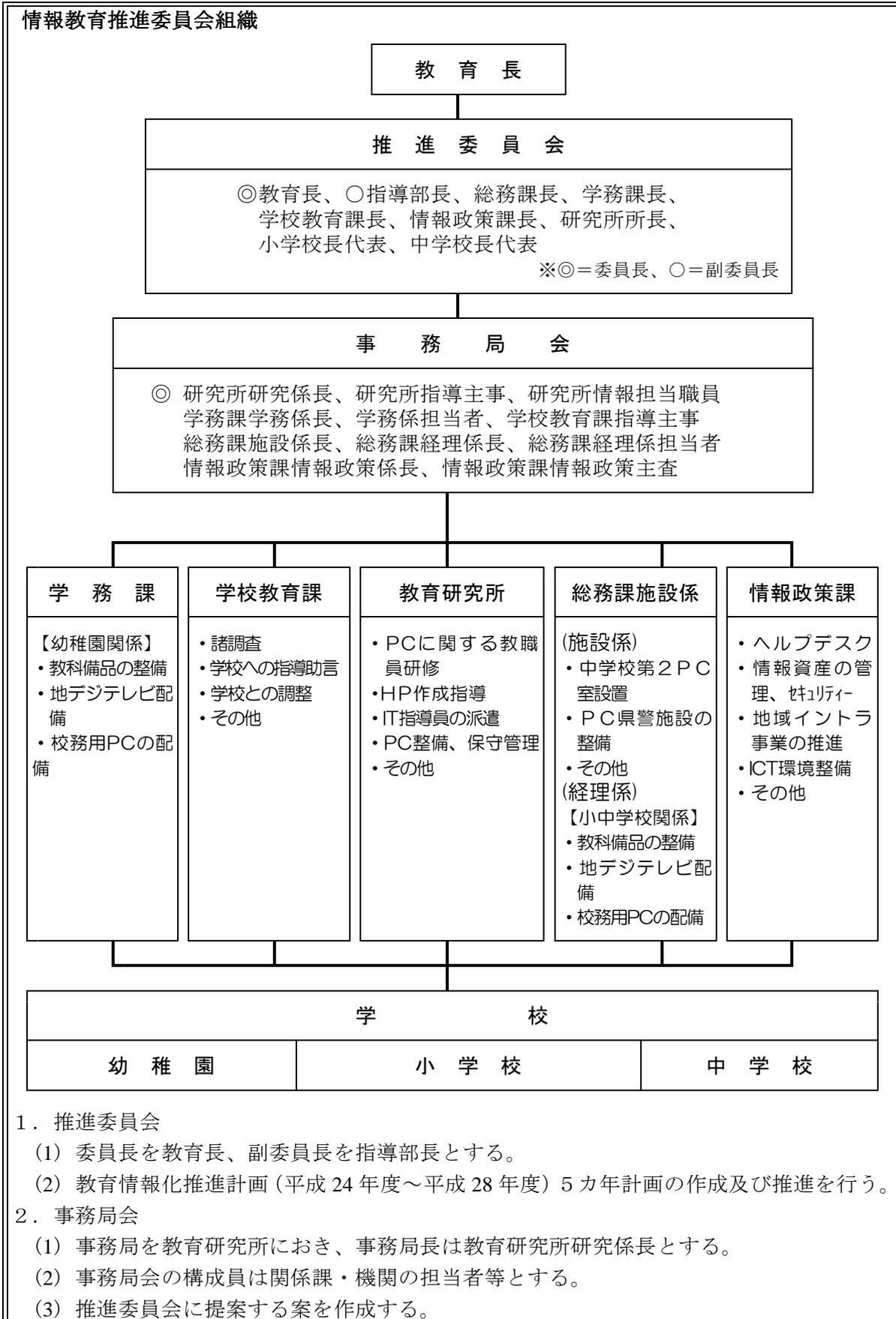
## 4 学校ホームページの管理、更新指導

各学校で開設されているホームページの管理や更新について指導援助を行う。

## 5 学校情報教育の調査・統計

## 6 浦添市情報教育推進委員会の運営

- ・浦添市の情報教育推進について協議を行い推進方針等を決定
- ・浦添市教育情報化推進計画（平成24年～平成28年）の推進
- ・浦添市の情報教育推進について協議を行い、推進方針等を決定



# 資料・刊行事業

## 1 研究報告書等の刊行

教育研究や実践に要する専門書等の整備・充実を図り、教育研究員の研究活動や市内教職員の指導資料等に供する。

- (1) 研究報告書の集録 (教育研究員研究集録, 研究協力員の集録, 各 120 部)  
※ HP へ電子データ(PDF)を公開することにより, 広く広報活動を行う。
- (2) 要覧 (120 部)
- (3) 図書室だより (各学校に向けて月 1 回発行)

## 2 図書室のレファレンス

出版販売されている教育関係の図書・雑誌の外, 全国の教育研究所の刊行物を取り揃えて, 閲覧及び貸出を行う。

### (1) 教職員の図書利用

来所の外に, 学校で当所の「図書検索システム」を検索し, 電話・ファックスで貸し出し申し込みができる。

図書の外にも研究所ホームページ図書室サイトに, 児童生徒用学習材, 教師用教材のリンク集を載せて, 活用を促進する。

(2) 図書室蔵書冊数		平成 26 年度	合計(平成 27 年 3 月 31 日現在)
1	図書	購入 33 冊	8,836 冊
2	研究報告書などの資料	148 冊 (643 編)	7,203 冊 (29,559 編)

### (3) 平成27年度定期購読月刊誌、新聞資料

#### <月刊誌>

- 1.初等教育資料 2.中等教育資料 3.総合教育技術 4.学校教育相談 5.児童心理
- 6.道徳教育 7.授業力&学級統率力 8.教職研修 9.特別支援教育の実践情
- 10.理科の教育 11.切り抜き速報教育版 (ニホンコミック) 12.指導と評価 (寄贈)

#### <新聞資料>

- 1.日本教育新聞

# 資料編

○教育研究所関係法規等	1 5
浦添市立教育研究所設置条例	1 5
浦添市立教育研究所設置条例施行規則	1 6
浦添市立教育研究所運営委員会規則	1 7
浦添市適応指導教室の運営要綱	1 8
適応指導教室協力者会設置要項	1 9
長期教員研修事業「教育研究員」実施要項	2 0
浦添市情報教育推進委員会設置要綱	2 1
浦添市立教育研究所「研究協力員」実施要項	2 2
○適応指導教室運営事業関連	2 4
○沿革	3 6
○歴代所長・所員	4 2
○教育研究員研究主題一覧	4 3
○年間行事等予定表	5 3
○研究所案内	5 5



# 教育研究所関係法規

## 浦添市立教育研究所設置条例

〔昭和63年3月31日〕

条例第14号

改正 平成11年12月13日条例第26号

改正 平成22年3月26日条例第12号

改正 平成26年3月28日条例第10号

### （設 置）

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、教育研究所を設置する。

### （名称及び位置）

第2条 教育研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名 称 浦添市立教育研究所
- (2) 位 置 浦添市仲間二丁目47番3号

一部改正〔平成26年条例10号〕

### （事 業）

第3条 浦添市立教育研究所（以下「研究所」という。）は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 教育に関する専門的、技術的事項の調査及び研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 教育に関する資料の収集、刊行及び利用に関すること。
- (4) その他教育の振興充実に関すること。

一部改正〔平成22年条例12号〕

### （職 員）

第4条 研究所に所長その他必要な職員を置く。

### （委 任）

第5条 この条例に定めるものほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成22年条例12号〕

### 附 則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成11年12月13日条例第26号）

この条例は、平成11年12月13日から施行する。

附 則（平成22年3月26日条例第12号）

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月28日条例第10号）

この条例は、平成26年3月31日から施行する。

# 浦添市立教育研究所設置条例施行規則

(昭和 63 年 4 月 1 日規則第 11 号)

改正 平成元年 5 月 24 日教委規則第 2 号 平成 2 年 3 月 20 日教委規則第 3 号  
平成 4 年 3 月 23 日教委規則第 3 号 平成 5 年 3 月 29 日教委規則第 9 号  
平成 16 年 3 月 4 日教委規則第 4 号 平成 22 年 3 月 31 日教委規則第 9 号  
平成 26 年 2 月 7 日教委規則第 1 号

## (趣旨)

**第1条** この規則は、浦添市立教育研究所設置条例(昭和 63 年条例第 14 号。以下「条例」という。)第 5 条の規定に基づき、浦添市立教育研究所(以下「研究所」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

## (組織)

**第1条の2** 研究所に研究係を置く。

## (職員)

**第2条** 研究所に、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 所長
  - (2) 係長
  - (3) 指導主事
  - (4) 司書
  - (5) 適応指導員
- 2 前項に定めるもののほか、必要に応じて心理判定員その他必要な職員を置くことができる。
- 3 所長及び心理判定員は、非常勤とすることができるものとし、その場合は、週 3 日以上の勤務とする。
- 4 所長の任期は、3 年以内とする。ただし、再任を妨げない。  
(平 26 教委規則 1 ・一部改正)

## (職務)

**第3条** 所長は、上司の命を受け、所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 係長は、上司の命を受け、係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督するとともに、所長に事故があるときはその職務を代理する。

3 指導主事は、上司の命を受け、研究所の企画運営及び指導業務に従事する。

4 司書は、上司の命を受け図書室の業務に従事する。

5 適応指導員は、上司の命を受け、適応指導教室の指導業務に従事する。

6 心理判定員は、上司の命を受け、適応指導教室の相談業務に従事する。

7 その他職員は、上司の命を受け、担任の事務に従事する。  
7(一部改正〔平成 4 年教委規則 3 号・5 年 9 号〕)

## (教育研究員)

**第4条** 研究所に、教育に関する調査研究のため、教育研究員(以下「研究員」という。)を入所させることができる。

2 研究員は、教育職員のうちから教育長が選考し決定する。

3 研究員の入所期間は、1 年以内とする。

## (研究協力員)

**第5条** 研究所の事業を推進するため、必要に応じ研究協力員(以下「協力員」という。)を置くことができる。

2 協力員は、教育職員のうちから教育委員会が選任する。

3 協力員の任期は、1 年以内とする。ただし、再任を妨げないものとする。

## (その他)

**第6条** この規則に定めるもののほか、研究所の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年 5 月 24 日教委規則第 2 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成 2 年 3 月 20 日教委規則第 3 号)

この規則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 4 年 3 月 23 日教委規則第 3 号)

この規則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 5 年 3 月 29 日教委規則第 9 号)

この規則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 16 年 3 月 9 日教委規則第 4 号)

この規則は、平成 16 年 3 月 9 日から施行する。

附 則(平成 22 年 3 月 31 日教委規則第 9 号)

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 26 年 2 月 7 日教委規則第 1 号)

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

# 浦添市立教育研究所運営委員会規則

昭和 63 年 4 月 1 日  
教育委員会規則第 12 号

## (趣旨)

**第1条** この規則は、浦添市附属機関設置に関する条例(昭和 47 年条例第 4 号)第 3 条の規定に基づき、浦添市立教育研究所運営委員会(以下「運営委員会」という。)の組織、運営その他必要な事項を定めるものとする。

## (任務)

**第2条** 運営委員会は、浦添市立教育研究所(以下「研究所」という。)の所長の諮問に応じて、研究所の運営に関する事項を調査審議する。

## (組織)

**第3条** 運営委員会は、10 人以内の委員で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 教育職員
- (3) その他教育委員会が必要と認める者

## (任期)

**第4条** 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委員長及び副委員長)

**第5条** 運営委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、運営委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

## (会議)

**第6条** 運営委員会の会議は、委員長が招集する。

2 運営委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 運営委員会の議事は、出席委員の過半数をもつて決し可否同数のときは委員長がこれを決する。

4 委員長は、運営委員会において必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、必要な資料を提出させ、説明又は意見を聞くことができる。

## (庶務)

**第7条** 運営委員会の庶務は、研究所において処理する。

## (その他)

**第8条** この規則により定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

## 附 則

この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

# 浦添市適応指導教室の運営要綱

平成 18 年 4 月 1 日  
所 長 決 裁

## 1 趣旨

浦添市立教育研究所設置条例第 3 条及び同条例施行規則第 2 条に基づき、浦添市内の不登校児童生徒の学校適応の促進を図るため設置する「浦添市適応指導教室」（以下「適応指導教室」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

## 2 設置及び場所

適応指導教室は、当分の間、浦添市あかひらステーションビル庁舎に置く。

## 3 対象児童生徒

適応指導教室に入級する児童生徒は、浦添市立小中学校（以下「小中学校」という。）に在学または浦添市に在住する者で、適応指導教室における指導が望ましい判定された者とする。

## 4 実施要項・指導計画

教育研究所長（以下「所長」という。）は、「適応指導教室実施要項」を定め、毎年度始めに「適応指導教室経営計画書」を浦添市教育委員会（以下「教育委員会」という。）指導部長に届ける。

## 5 開級期間

適応指導教室の開級期間は小中学校の授業日に準ずることとし、毎年度の開始及び終了の期日は、所長が定める。

## 6 入級・退級

個々の児童生徒の適応指導教室への入級・退級は、別に定める判定会議によるものとする。

## 7 職員

適応指導教室に適応指導教室担当教諭（以下「担当教諭」という。）、適応指導員、心理判定員の職員を置く。職員は所長の命を受け、概ね以下の職務に従事する。

- (1) 担当教諭は、特別教育研究員として、適応指導教室の企画・運営、児童生徒の指導にあたる。
- (2) 適応指導員は、教育研究所の嘱託の指導員を充て、担当教諭を補佐し適応指導教室の運営や児童生徒の指導にあたる。
- (3) 心理判定員は、教育研究所の嘱託の職員を充て、担当教諭、適応指導員に協力して、適応指導教室の相談業務、児童生徒の指導にあたる。

## 8 スーパーヴァイザーの設置

適応指導教室にスーパーヴァイザーを置く。

- (1) スーパーヴァイザーは、医師、臨床心理士等の専門家を教育委員会が委嘱する。
- (2) スーパーヴァイザーは、適応指導教室の運営、児童生徒等の指導・援助に関する助言を行う。

## 9 適応指導教室協力者会

適応指導教室に、適応指導教室協力者会（以下「協力者会」という。）を置く。

- (1) 協力者会は、所長の求めに応じ、児童生徒の適応指導教室への入級及び指導・支援の在り方等を協議し、助言を行う。
- (2) 協力者会の委員は、次にあげる者のなかから、教育研究所長が委嘱する。
  - ① スーパーヴァイザー
  - ② 教育研究所員
  - ③ 学校関係者（校長、養護教諭、教育相談係教諭等）
  - ④ 教育行政関係者
  - ⑤ 学識経験者
- (3) 協力者会に委員長、副委員長を置く。委員長、副委員長は委員の互選によって選出する。
- (4) 委員会議の開催等については、別に定める。

## 10 その他

その他必要な事項は、所長が別に定める。

## 附則

- 1 この要綱は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

# 適応指導教室協力者会設置要項

平成18年5月23日  
教育研究所長 決 裁  
改正 平成25年4月1日

## 1 設置目的

適応指導教室の学級経営や児童生徒の指導援助の効果的な在り方等に関する協議を行うため、適応指導教室協力者会（以下「適応協力者会」という。）を置く。

## 2 任務

適応協力者会の委員は、教育研究所所長（以下「所長」という。）の求めに応じ、児童生徒の適応指導教室への入級及び支援援助の在り方等について調査・協議し、助言を行う。

## 3 委員

適応協力者会の委員は15人以内とし、次にあげる者の中から所長が委嘱する。

- (1) 学校関係者（校長、教頭、養護教諭、教育相談担当教諭等）
- (2) 教育行政関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他所長が必要と認める者

## 4 任期

委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

## 5 委員長及び副委員長

適応協力者会に委員長と副委員長を置く。委員長、副委員長は委員の互選によって選出する。

- (1) 委員長は協力者会を代表して会務を総理する。
- (2) 副委員長は委員長を補佐し、委員長が不在の時はその職務を代理する。

## 6 会議

会議の定例会は年3回程度を原則として、委員長が招集する。ただし、必要に応じて臨時会を開催することができる。

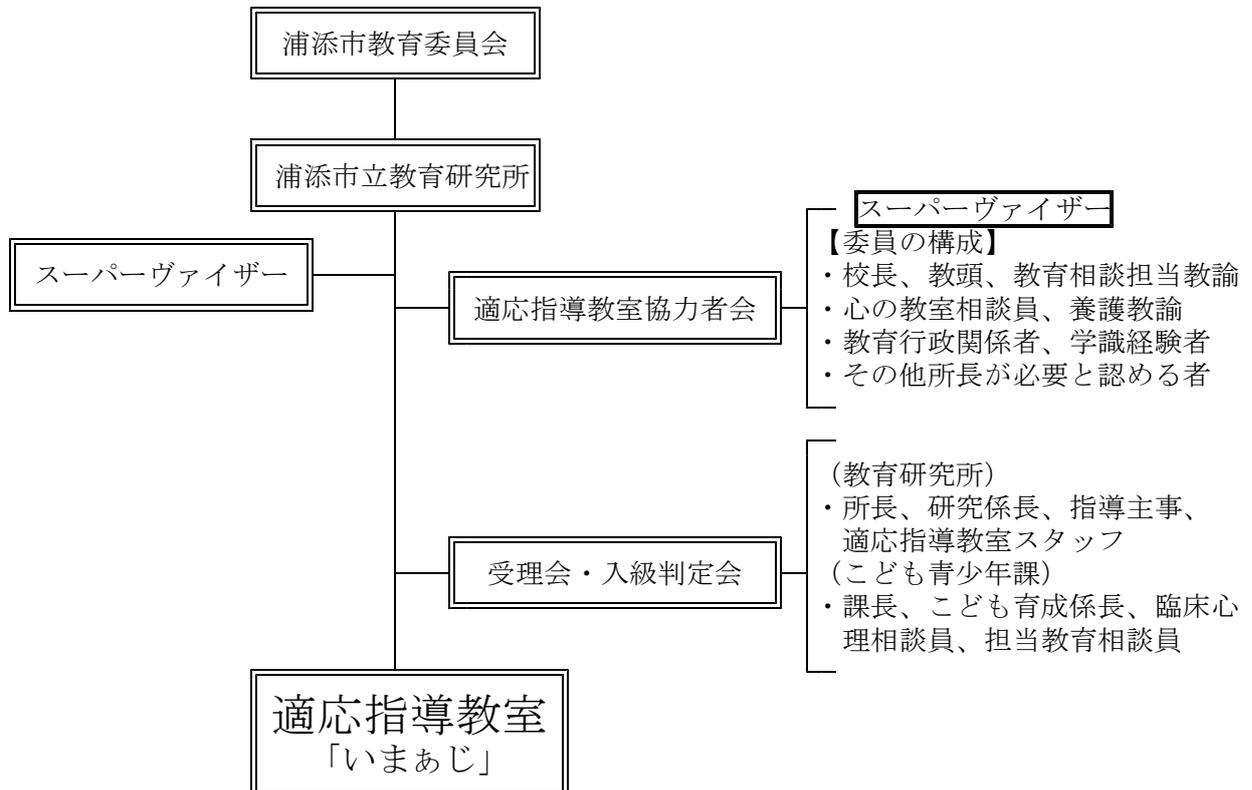
## 7 スーパーヴァイザー

必要に応じ教育研究所スーパーヴァイザーを招聘する。

## 8 事務局

適応協力者会に事務局を置き、会の事務を司る。事務局員は教育研究所の所員をもってあてる。

### 【組織図】



# 長期教員研修事業「長期教育研究員」実施要項

浦添市立教育研究所

## (趣 旨)

- 1 この要項は、浦添市立教育研究所（以下「研究所」という）における長期教育研究員（以下「教育研究員」という）による研修の目的、内容、方法、期間及び服務等に関して必要事項を定めるものである。

## (研修目的)

- 2 学習指導等の学校教育の課題及び浦添市立幼稚園・小中学校（以下「学校」という）の教育課題を解決、改善していくために、研究対象教科等に関する理論及び実践力等の資質の向上を図り、使命感を持って、浦添市の学校教育の充実に資する人材を育成する。

## (研修内容)

- 3 教育研究員は、各自（又は学校）の研究主題について、研究所の職員、浦添市教育委員会（以下「教育委員会」という）の指導主事・教科指導員等の指導・助言及び学校との緊密な連携により、自発的で積極的な研究を行う。
- 4 教育研究員は、研修期間中、次の研修を受講する。
  - (1) 教育研究員「基礎講座」及び研究所が主催する教育文化講演会等の研修会。
  - (2) 教育研究員が企画する施設見学、野外実習等の「所外研修」。
  - (3) 教育研究員の検証授業等の授業研究会等。

## (研修方法)

- 5 教育研究員は、この要項に定めるもののほか、当該年度の研究活動実施要項及び各自の研修計画を立てて、実施する。

## (研究成果報告会)

- 6 教育研究員は、研究成果を研修期間内に報告書にまとめ、研究成果報告会において発表する。

## (研修修了の認定)

- 7 教育研究員の研修に対する取組や態度、研究報告書の完成等、研修の成果があると認められる者に、修了証を授与する。

## (サービスの取り扱い)

- 8 教育研究員の研修期間中のサービスの取り扱いについては、研究所所長（以下「所長」という）が別に定めることに従って事務処理を行う。

## (その他)

- 9 この要項に定めるもののほか必要な事項は、所長が別に定める。

# 浦添市情報教育推進委員会設置要綱

平成18年11月15日一部改正 教育長決裁

## (設置)

第1条 浦添市立幼稚園・小学校・中学校における情報教育の推進と充実及び教育情報の有効な活用を図ることを目的に、浦添市情報教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

## (任務)

第2条 推進委員会は、関係機関の連携のもと次のことを行う。  
浦添市立学校における情報教育の推進方向について協議する。  
浦添市立幼稚園・小学校・中学校の幼児児童生徒の情報活用能力の育成にかかる具体的方策を協議する。

## (組織)

第3条 推進委員会は、次に掲げる者を委員として組織する。  
教育長、指導部長、教育委員会総務課長、学務課長、学校教育課長、教育研究所長、情報政策課長、小学校長代表、中学校長代表

## (任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。  
2 委員は、再任されることができる。

## (委員長及び副委員長)

第5条 推進委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は教育長、副委員長は指導部長とする。  
2 委員長は、会務を総理し、推進委員会を代表する。  
3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第6条 推進委員会の会議は、年2回を定例とする。  
2 会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。  
但し、委員長が指名するものが議長となることができる。

## (事務局会)

第7条 推進委員会に事務局を置き、次の事務局員をもって組織する。  
学務課経理係長、学務課経理係担当職員、学校教育課担当指導主事、教育委員会総務課施設係長、教育委員会総務課施設係技師、教育研究所研究係長、教育研究所指導主事、教育研究所情報担当職員、情報政策課担当職員  
2 事務局長は、教育委員会職員があたる。  
3 事務局会は、推進委員会に提起する事項の案を検討協議し作成する。  
4 事務局会は、推進委員会の協議に基づき情報教育の推進を行う。

## (学識経験者等の出席)

第8条 委員長は、必要があると認めるときは、会議に学識経験者等の専門家の出席を求め、その意見を聴くことができる。

## (その他)

第9条 その他必要な事項は、委員長が別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成17年7月1日から施行する。

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

# 平成 27 年度 浦添市立教育研究所「研究協力員」要項

平成 27 年 2 月 吉日  
浦添市立教育研究所

## 1 基本方針

本県の学力向上推進（平成 24～28 年度）においては、「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上を推進しているところである。「わかる授業」の構築のためには、「コンピュータを活用した指導」が有効であることは、すでに多くの研究・報告がされ、その有効性が確認されている。それを受け、本市においても、平成 24～26 年度の 3 年間の取組として、ICT 機器を活用した電子教科書等の有効活用について授業実践をしていただき、その成果のまとめ、実践資料の提供等を行ってきた。

さらに、本事業の平成 27～29 年度の 3 年間の取り組みは、「第 2 期教育振興基本計画」（H25 閣議決定）の中で提唱される協働型・双方向型の授業革新の推進に向けた ICT 機器の活用による新たな学びを目指し、PC や電子黒板、iPad 等を活用した授業実践をしていただき、その成果をまとめ、市立小中学校へ実践資料を提供する。

## 2 委託研究テーマ

PC や電子黒板 iPad 等を活用した実践研究

## 3 研究内容

- (1) ICT 機器を活用した各種の授業実践、または職員が行った実践の情報収集（～9 月）
- (2) (1) で得られた情報をもとに、PC や電子黒板 iPad 等を用いた授業実践をする。
  - ① 事前・事後に児童生徒の実態調査（研究所作成）を取り、児童生徒の変容をみとめる。
  - ② その他、レディネステストや、形成的評価、パフォーマンス評価などを組み込み、児童生徒の変容をはかる。※指導案は那覇教育事務所様式で、A3 用紙 1 枚の略案作成
- (3) A4 用紙 1～2 枚に、成果と課題、研究の考察をまとめる。

※報告書等は、当研究所ホームページに掲載し、市立小中学校で実践の参考とする。

## 4 報告書について

- (1) 形 式・・・指導案：那覇教育事務所様式で、A3 用紙 1 枚の略案作成  
報告書：指定様式 A4 1～2 枚程度（第 1 回目の協力員会で提示）  
【実践授業の写真や、変容をみとれる表、図等を挿入する】
- (2) 提 出・・・・・・報告書の電子媒体（コラボノートへ添付するか e-mail で提出）

## 5 研究協力員

- (1) 平成 26 年度担当 6 校（別添資料参照）から、研究協力員 1 名を推薦していただく。  
【浦添小、仲西小、神森小、浦城小、浦添中、仲西中】
- (2) 協力員の任期は、平成 27 年 10 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までとする。

## 6 研究日程(予定)・・・別添実施計画参照

- 1 回目 4 月 22 日(水) 趣旨説明、研究協力員の委嘱、学校整備機器の紹介等
- 2 回目 10 月 21 日(水) 進捗状況報告、情報交換会、指導案作成等
- 3 回目 11 月 18 日(水) 進捗状況報告、情報交換会、指導案作成等
- 4 回目 1 月 13 日(水) 実践発表①(授業終了者数名)、情報交換会、指導案作成等
- 5 回目 2 月 3 日(水) 実践発表②、その他

※ 研究の時間は 1 回目を除き、原則として 16:45 以降の 2 時間程度。（謝金有り）

## 7 謝礼金について

- 研究協力員の謝礼金は、1 時間 2,500 円程度とする。【2～5 回目】  
(研究協力員会の回数で変動)

## 8 その他

- (1) 研究に必要な書籍は、教育研究所・図書室で購入し、貸出しします。
- (2) 授業実践に伴う、雑費等はありません。日常の教育実践の範囲内でお願いします。

浦添市立教育研究所 研究協力員一覽表（平成17年～29年）

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
委託研究 テーマ	技術科 メーカーを 使ったマル チメディア 教材の化	平成20年度 導入予定の教 育用コン ピュータ(中学 校)の整備基 準を作成す る。	○ 小学校情報 教育の年間指 導計画の作成 ○小中学校の 校内LANコン ピュータの整備 や中学校の教 育用コンピユ ータの整備(契約 等)にあたり、導 入計画及び仕 様書作成の協	コンピュータや 周辺機器 等を活用し た実践研 究(コラボ ノートfor ス ケール)	Q-Uを活用 しての学級 経営を通じ た取組	ICT機器活 用事例調 査	「Q-U」アン ケートを活 用した学級 経営につ いての実 践研究	電子教科 書を活用し た実践報 告	電子教科 書を活用し た実践報 告	電子教科 書・ICT機 器等を活 用した実践 報告	PCや電子 黒板・iPad 等のICT機 器を活用し た実践報 告		
浦添小								●			●		
仲西小								●			●		
神森小								●			●		
浦城小									○		●		
牧港小									○		●	◎	
当山小									○		◎	◎	
内間小									○	◎	◎	◎	
港川小					○				○	◎	◎		○
宮城小									○	◎	◎		○
沢岬小									○	◎	◎		○
前田小									○	◎	◎		○
浦添中								●			●		
仲西中								●			●		
神森中								●			●	◎	
港川中					○(2名)				○		◎	◎	
浦西中										◎			○
那覇市内中学校 2名(2校)													
協力員人数	3	0	8	1	3	16	16	6	4	6	6	5	5

～平成23年まで、研究所より各教諭へ依頼及び、学校推薦にて委託  
平成24年より「輪番制」(各学校3年に1度、協力員の推薦を)

# 適応指導教室運営事業関連

## ～浦添市適応指導教室「いまあじ」実施要項～

浦添市立教育研究所 適応指導教室「いまあじ」  
 (浦添市仲間1-1-2 あかひらステーションビル3階)  
 Tel : 876-1234 (内線 6568) Tel/Fax : 874-5188 (直通)

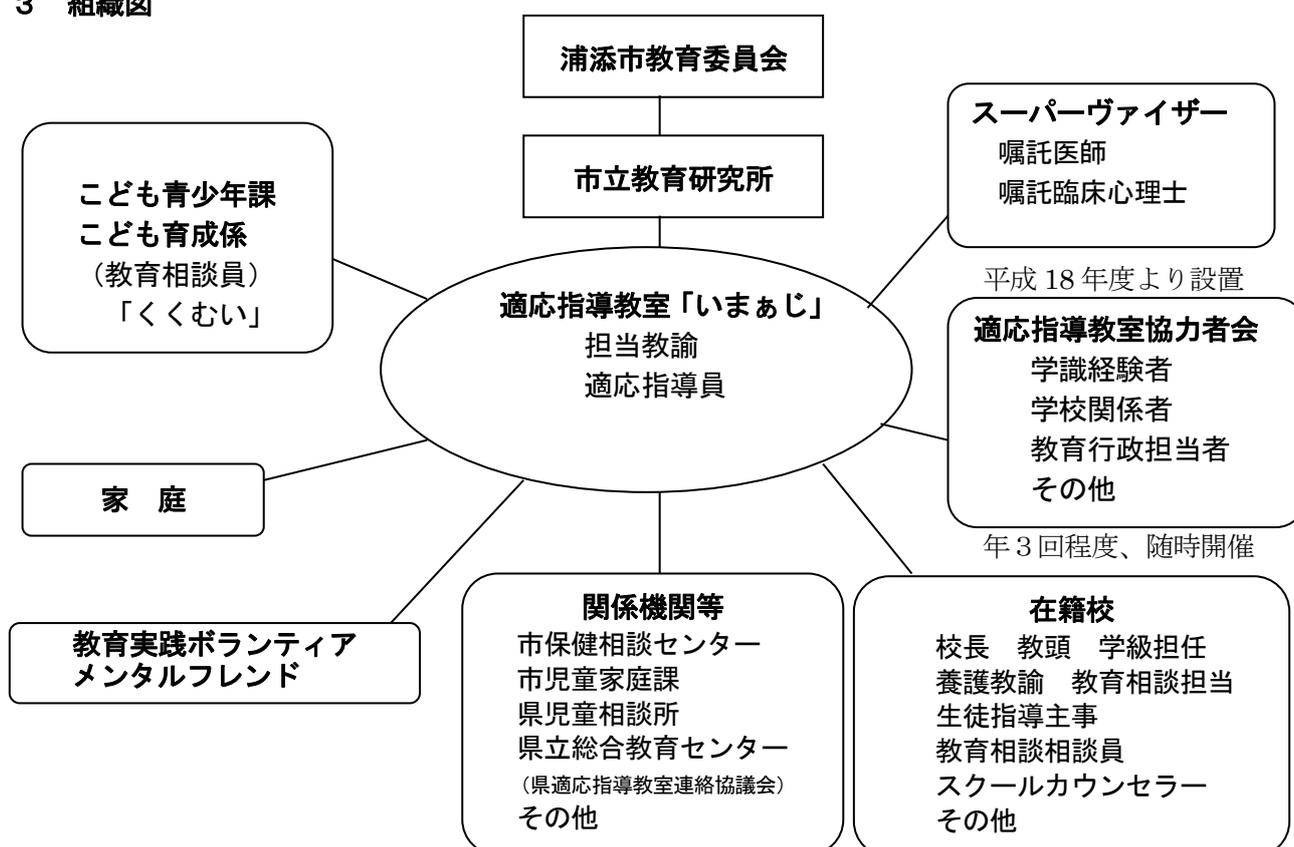
### 1 目的

不登校児童生徒への相談及び援助・指導を行い、自立心を育て、集団生活への適応力をたかめ、再登校ができるようにすること。

### 2 沿革

- 平成 2 年度 浦添市が県教育委員会の「嘱託医による登校拒否児童生徒の教育相談事業」を受ける。嘱託医に高良小児科医の高良聡子医師が委嘱される。
- 平成 3 年度 県委託事業の一環として、青少年センターに適応指導教室が設置される。
- 平成 8 年度 教育相談業務の主管が教育研究所になったことに伴い、適応指導教室が教育研究所の所属となる。学級名を「ふれあい」から「いまあじ」とする。
- 平成 11 年度 文部省「スクーリングサポートプログラム(SSP)」の事業を受ける。
- 平成 14 年度 スーパーヴァイザーに潮平恵子氏が委嘱される。
- 平成 15 年度 スーパーヴァイザーに金城孝次氏が委嘱される。
- 平成 18 年度 スーパーヴァイザーに嘱託医師として平安病院の古田由紀子医師が委嘱される。適応指導教室協力者会を設置する。
- 平成 22 年度 教育研究所教育相談室がこども青少年課こども育成係と統合し、適応指導教室の窓口がこども青少年課こども育成係教育相談室となる。

### 3 組織図



## 4 対象児童生徒

浦添市の小中学校に在籍または市内に在住し、心理的要因等による不登校で、こども青少年課こども育成係教育相談員が適応指導教室での小集団の援助指導が可能で望ましいと判断し、入級判定会議で入級を許可された児童生徒。

具体的には、以下に示す状態がみられる児童生徒。

- ・ 学校に行く意思はあるが、行けない。
  - ・ 登校時間になると、腹痛・頭痛・嘔吐・発熱等の身体症状を呈することがある。
  - ・ 登校した児童生徒が学校にいる時間帯はほとんど外出しない。
  - ・ 級友や学級担任が家庭訪問しても、会いたがらない。
  - ・ 家に閉じこもり、ほとんど外出したくない。
  - ・ 学校復帰したいと思っている。
  - ・ 適応指導教室「いまあじ」に通う意思がある。
  - ・ 保護者が送迎可能である。
- ※ 発達障害等を伴う児童生徒の場合は研究所内(スーパーヴァイザーを含む)で協議し、決定する。

## 5 援助指導目標

不登校児童生徒の「心の居場所」となり、自立性・社会性を育成しながら一人ひとりの成長を図り、集団生活への適応力を高め、学校復帰をめざす。

## 6 援助指導方針

個々に応じた体験活動、教育相談活動、学習活動を通して

- (1) 自分を出すことができるようにする。
- (2) 「何をしたいか」を見つけることができるようにする。
- (3) 人との関わりができるようにする。
- (4) 「自分らしさ」を見つけることができるようにする。

※「あせらず、じっくり」をモットーに自立のための援助指導を行う。

## 7 援助指導内容

### (1) 体験活動

- ①スポーツ、ゲーム、創作活動、調理実習
- ②奉仕活動、社会見学、遠足、図書館利用、地域や自然散策
- ③高等学校及び専門学校訪問、職場体験(見学) 等
- ④宿泊体験学習

※宿泊体験学習は、学期1回程度

### (2) 教育相談活動

- ①児童生徒への定期相談(毎週金曜日)
- ②児童生徒・保護者への適宜相談(こども青少年課こども育成係教育相談員との面接も行う。)
- ③児童生徒の状況に応じた家庭訪問
- ④保護者への支援(「いまあじ」保護者会、市内小中学校教育相談保護者交流会)

### (3) 学習活動

#### ①教科学習

教科書やワーク、問題集、資料集を利用した学習以外に、PCを利用して、浦添市立小学校全校に導入されている「ラインズ eライブラリー アドバンス」(履歴型学習ドリルソフト)による学習支援を実施。

学習内容は、児童生徒の興味・関心や実態に応じ、相談しながら弾力的に援助する。

#### ②パソコン学習

定期的にパソコンによる学習を実施する。

## 8 開級期間・開級日時

- (1) 開級期間 4月22日(火)～翌年3月19日(木)
- (2) 開級曜日 月曜日～金曜日の週5日
- (3) 開級時間 午前9時～午後3時 \*火曜日・木曜日は12時まで
- (4) 長期休業 市立小中学校に準ずる。

## 9 適応指導教室「いまあじ」の一週間

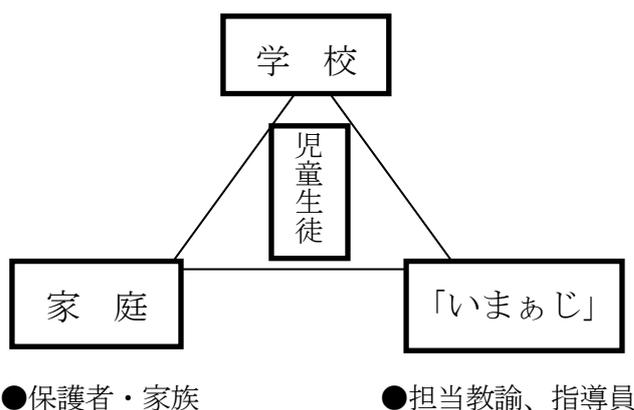
「いまあじ」週プログラム (例)

	月	火	水	木	金
8:30～9:00	研究所にて 職朝	適応スタッフ ミーティング	いまあじにて 所員ミーティング	研究所にて 職朝	適応スタッフ ミーティング
9:00～9:30	生活日誌への記入・今日の学習計画 リラックスタイム (自主活動)				
9:35～9:50	朝の会				
9:50～10:00	休憩				
10:00～10:30 10:35～11:05 11:10～11:40	学習活動			スポーツ 活動	学習活動 (教育相談)
			農園活動		
11:45～12:00	休憩	帰りの会	休憩	帰りの会	休憩
12:00～12:45	昼食・昼休み	職員ミーティング (研究所他)  (職員研修) (学校訪問)	昼食・昼休み	職員ミーティング (研究所他)  (職員研修) (学校訪問)	昼食・昼休み
12:45～13:00	清掃		清掃		清掃
13:00～14:45	自主活動 学習・創作		自主活動 自主計画		自主活動 自主計画
14:45～15:00	帰りの会		帰りの会		帰りの会
15:00～17:15	(職員ミーティング・職員研修・学校訪問・家庭訪問・保護者会 等)				

## 10 学校・家庭・適応指導教室「いまあじ」の役割、および援助指導の連携協力

### 【学校の役割】

- ① 保護者および「いまあじ」との連携協力
- ② 出席状況の確認、出席簿への記入
- ③ 学級で忘れられた存在にならないように、年間を通じての配慮(座席、友人、係など)
- ④ 保護者との連絡および学校からの文書届け
- ⑤ 定期テストに関する調整、連絡  
(テストの日程・範囲の連絡、受験場所など)
- ⑥ 学校行事への参加呼び掛け  
(保健行事も含む)
- ⑦ 進路に関する情報提供および諸手続き  
(三者面談など)
- ⑧ 再登校時の受け入れ体制づくり
- ⑨ 「いまあじ」への訪問
- ⑩ 三者会への参加
- ⑪ 研修会等への参加



### 【家庭の役割】

- ① 学校および「いまあじ」との連携協力
- ② 学校及びいまあじの行事への参加
- ③ 保護者会への参加
- ④ 研修会等への参加
- ⑤ 保護者面接への参加
- ⑥ てだこぎずなの会への参加

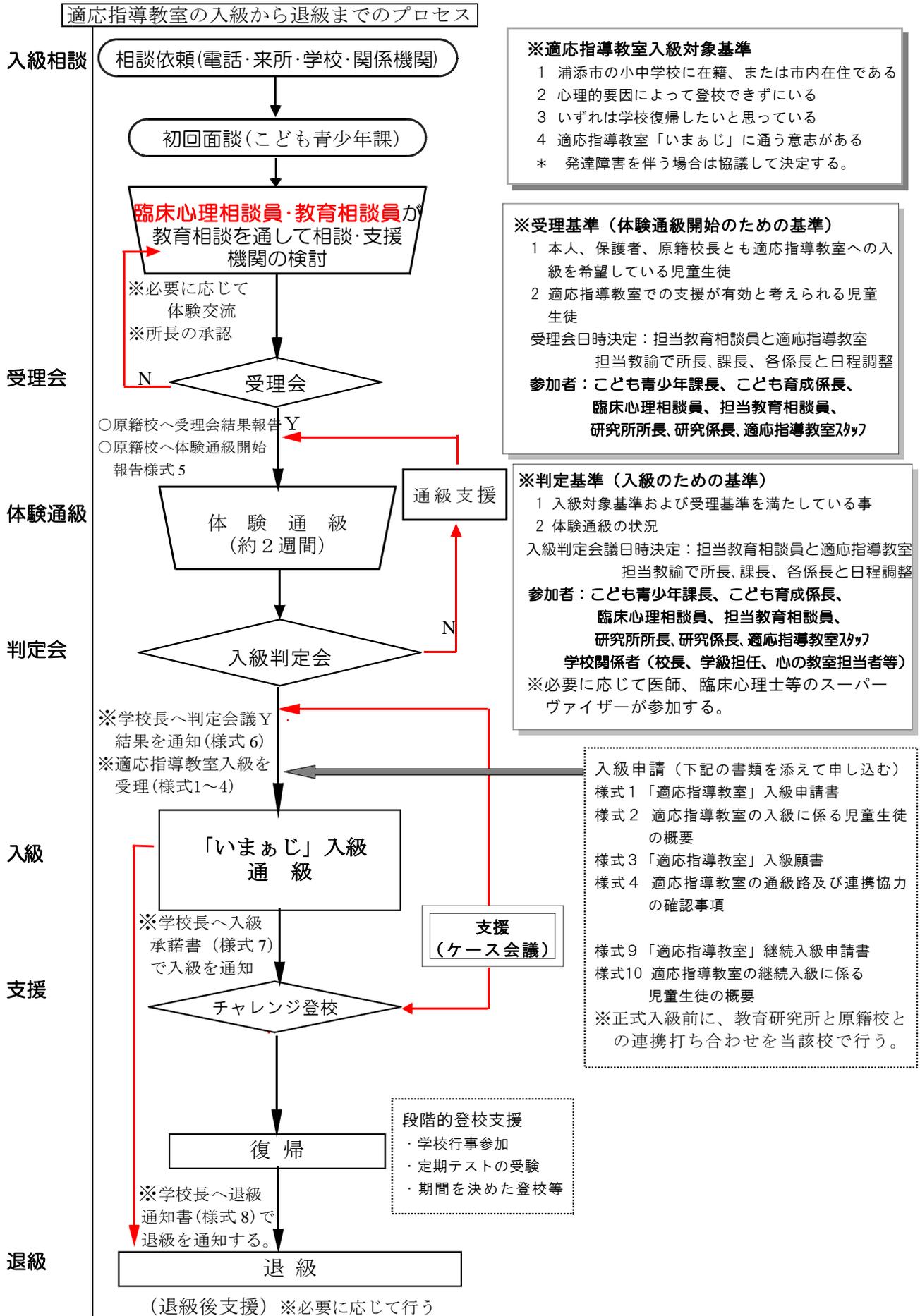
### 【いまあじの役割】

- ① 保護者および在籍校の先生方との連携協力
- ② 本人、保護者、担任との面談(実態把握)
- ③ 入級児童生徒への援助指導
- ④ 入級および終了の報告
- ⑤ 在籍校への毎月の出席状況報告
- ⑥ 定期テストに関する調整、連絡
- ⑦ 児童生徒の「いまあじ」終了後の状況把握および追支援
- ⑧ 不登校児童生徒への支援の在り方や適応指導教室への理解等に関する情報発信(報告会・研修会の実施、参加の呼び掛けなど)
- ⑨ 県内適応指導教室、その他の専門機関との連携

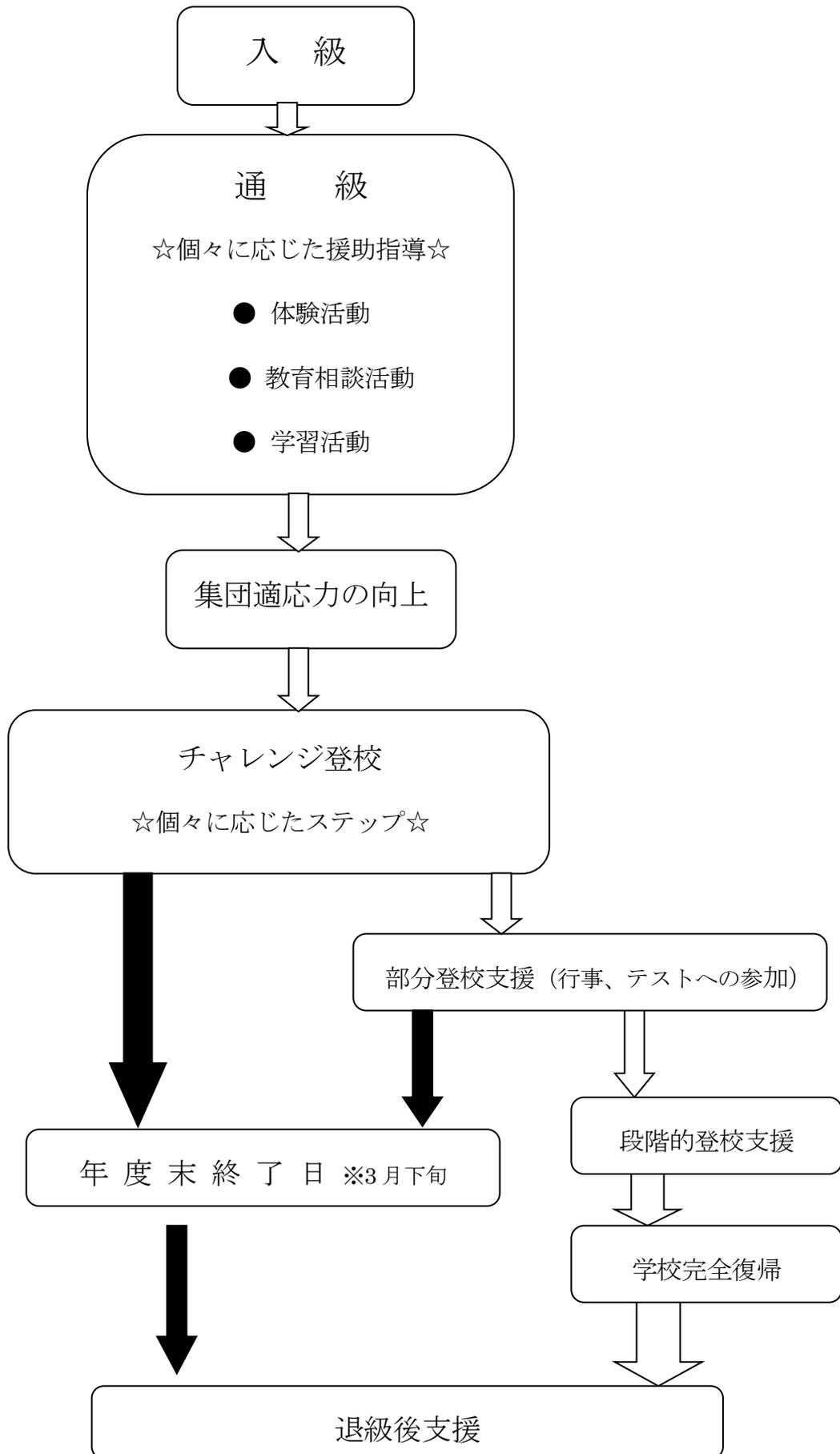
## 11 援助指導者

- ア 専門家による教育相談(嘱託医師、臨床心理士)
- イ こども青少年課こども育成係教育相談員
- ウ 適応指導教室担当教諭
- エ 適応指導教室指導員
- オ 教育研究所所員等
- カ メンタルフレンド、教育実践ボランティア
- キ 適応指導教室協力者会

## 12 適応指導教室の入退級システム



13 入級後の支援の流れ



[様式1]

平成 年 月 日  
校 第 号  
年 月 日

浦添市立教育研究所長 殿

浦添市立 学校  
学校長 印

## 「適応指導教室」入級申請書

下記のとおり、「適応指導教室『いまあじ』」への入級を申請します。

記

### 1 入級を希望する児童生徒

ふりがな		生 年 月 日
氏 名		平成 年 月 日

### 2 提出書類

様式1 (学校用)	「『適応指導教室』入級申請書」(本様式)	1通
様式2 (担任用)	「適応指導教室の入級に係る児童生徒の概要」	1通
様式3 (保護者用)	「『適応指導教室』入級願書」	1通
様式4 (保護者用)	「適応指導教室の通級路及び連携協力の確認事項」	1通

### 3 校長所見 (不登校等の経緯, 今後の学校の関わり等について)

[様式2]

平成 年 月 日

浦添市立 学校 年 組

学級担任 \_\_\_\_\_ 印

### 適応指導教室の入級に係る児童生徒の概要

児童・生徒	ふりがな氏名		保護者	ふりがな氏名		自宅電話	
	生年月日	年 月 日生		職業			
	住所			続柄		年齢	歳

1 保護者の養育態度，家庭生活状況，家族との関係

2 出席及び学習成績状況

(1) 出席の様子

学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
欠席日数									

(2) 学習成績の様子 ( 年 学期の評定)

国 語	社 会	算 数 ----- 数 学	理 科	音 楽	図 工 ----- 美 術	体 育 ----- 保 体	家 庭 ----- 技 家	英 語		生 活

3 担任所見

- 指導の経過及び指導上の留意点（教育相談担当教諭，スクールカウンセラー・心の教室相談員等の情報等から）
- 適応指導教室入級後の学級担任の関わり方など）

## 「適応指導教室」入級願書

浦添市立  
校長

学校  
様

下記のとおり、浦添市立教育研究所の適応指導教室「いまあじ」に入級を申し込みます。

学校名、学年・学級名	学校 年 組					
ふりがな 児童生徒氏名			男 女	生年月日(年齢) 平成 年 月 日生( )		
現住所	浦添市					
連絡先	電話番号 098- - 緊急連絡先 ( ) 電話番号 - -					
家族構成	氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢

届 出 理 由	<p>○学校を休み始めた時期と主な理由（きっかけ）</p> <p>○学校を休んでいる時の生活の様子（現学年）</p> <p>○適応指導教室への要望や連携に関すること</p>
------------------	--

保護者氏名 印

住所 浦添市

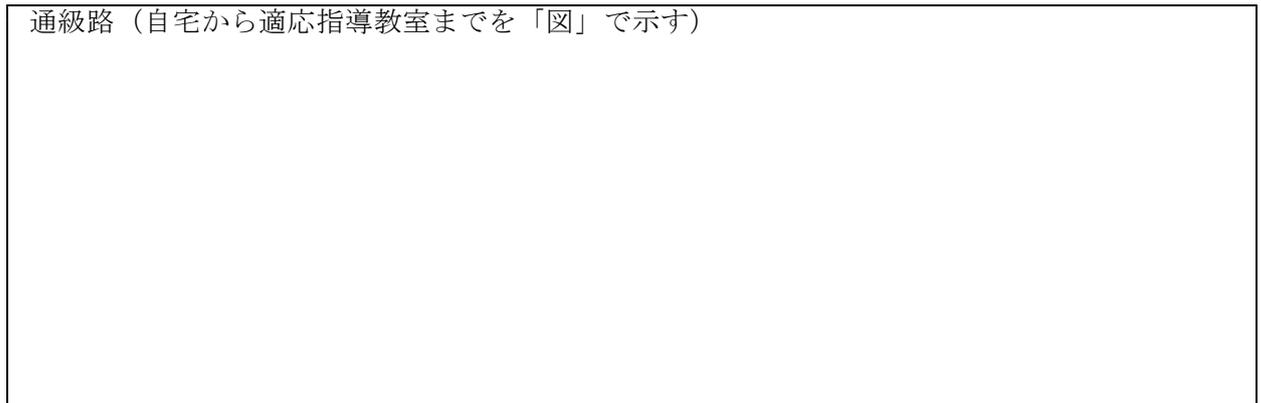
[様式4]

## 適応指導教室の通級路及び連携協力の確認事項

入級児童生徒氏名	平成 年 月 日 生
在籍学校・学年	学校 年 組

### 1 通級路について

通級路（自宅から適応指導教室までを「図」で示す）



主な交通方法（通級時と帰宅時の両方を記す）（例：朝は保護者の自動車使用，帰りは徒歩）  
[往路：通級時]

[復路：帰宅時]

この通級経路，交通方法により「独立行政法人 日本スポーツ振興センター」の災害共済給付の適用路として確認します。

### 2 適応指導教室との連携協力について

保護者と学校は児童生徒の自立心を高め，学校復帰を目指すことを目的に適応指導教室の学級経営方針を守り連携協力することを確認します。

以上のことを，学校，保護者が署名・押印し，協約事項として確認します。

平成 年 月 日

保護者氏名 \_\_\_\_\_ 印

学校長氏名 \_\_\_\_\_ 印

[様式9]

平成 年 月 日

浦添市立教育研究所長 殿

浦添市立 学校  
学校長 印

## 「適応指導教室」継続入級申請書

下記のとおり、「適応指導教室『いまあじ』」への継続入級を申請します。

記

### 1 入級を希望する児童生徒

ふりがな		生 年 月 日
氏 名		平成 年 月 日

### 2 提出書類

様式9(学校用) 「『適応指導教室』継続入級申請書」(本様式) 1通

様式10(担任用) 「適応指導教室の継続入級に係る児童生徒の概要」 1通

(家庭環境や保護者、住所が前年度より変更になっている場合、以下をご提出下さい)

様式3(保護者用) 「『適応指導教室』入級願書」 1通

様式4(保護者用) 「適応指導教室の通級路及び連携協力の確認事項」 1通

### 3 校長所見(入級生徒の変容、今後の学校の関わり等について)

--

平成 年 月 日

浦添市立 学校 年 組

学級担任 \_\_\_\_\_ 印

### 適応指導教室の継続入級に係る児童生徒の概要

児童・生徒	ふりがな氏名		保護者	ふりがな氏名		自宅電話	
	生年月日	年 月 日生		職業			
	住所			続柄		年齢	歳

1 保護者の養育態度，家庭生活状況，家族との関係

2 出席及び学習成績状況

(1) 出席の様子

学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
欠席日数									

(2) 学習成績の様子 ( 年 学期の評定)

国 語	社 会	算 数 ----- 数 学	理 科	音 楽	図 工 ----- 美 術	体 育 ----- 保 体	家 庭 ----- 技 家	英 語		生 活

3 担任所見

- 指導の経過及び指導上の留意点（教育相談担当教諭，スクールカウンセラー・心の教室相談員等の情報等から）
- 適応指導教室継続入級後の学級担任の関わり方など

# 沿革

昭和63年		12月27日	○平成2年度後期（第5期）教育研究員 「修了式」
4月1日	○浦添市立教育研究所設置条例施行により開設 （浦添小学校C棟4階） 所長 西里 良輝（指導課長兼任）	平成3年	
5月11日	○九州地区教育研究所連盟加入	2月16日	○県指定「学力向上対策実践報告会」 会場：神森中体育館 記念講演会「真の学力を育てるために」 千葉大学教授 坂本 昇一
6月1日	○全国教育研究所連盟加入		
6月6日	○沖縄県教育研究所連盟加入		
10月1日	○昭和63年度（第1期）教育研究員「入所式」 （小学校2名，中学校2名）	4月2日	○平成3年度前期（第6期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校4名，中学校2名）
平成元年		7月31日	○平成3年度前期（第6期）教育研究員 「修了式」
2月18日	○第1回教育文化講演会 「生きる力・学ぶ力」－思考か表現力の育成－ 講師 兵庫教育大学教授 長谷川 孝志	9月2日	○平成3年度後期（第7期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校3名，中学校3名）
3月24日	○昭和63年度（第1期）教育研究員「修了式」	10月8日	○第4回教育文化講演会 「子どもの良さを伸ばす教育の実現」 講師 国立教育研究所室長 高階 玲治
4月1日	○平成元年度前期（第2期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校3名，中学校3名）	10月31日	○大城昌周主査解任 （浦西中教頭へ人事異動のため）
6月21日	○大研修室視聴覚機器設置完了	11月1日	○諸見里稔主査発令
7月31日	○平成元年度前期（第2期）教育研究員 「修了式」	12月26日	○平成3年度後期（第7期）教育研究員 「修了式」
9月1日	○平成元年度後期（第3期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校4名，中学校2名）	平成4年	
12月27日	○平成元年度後期（第3期）教育研究員 「修了式」	3月23日	○浦添市立教育研究所設置条例施行規則の一部 改正
平成2年		3月31日	○専任所長 福山 朝秀（非常勤）解任
2月20日	○第2回教育文化講演会 「新学習指導要領と教師の役割」 講師 お茶の水女子大学教育学部教授 森 隆夫	4月1日	○所長 前田 貢（非常勤）発令 ○主事 與那城太一（常勤）発令 ○施行規則の一部改正により「主査」を「研究係長」に改正
4月1日	○専任所長 福山 朝秀（非常勤）発令 ○平成2年度前期（第4期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校3名，中学校2名）	4月2日	○平成4年度前期（第8期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校4名，中学校2名）
7月31日	○平成2年度前期（第4期）教育研究員 「修了式」	7月31日	○平成4年度前期（第8期）教育研究員 「修了式」
9月4日	○平成2年度後期（第5期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校5名，中学校2名）	9月1日	○平成4年度後期（第9期）教育研究員「入所式」 （幼稚園1名，小学校4名，中学校2名）
11月1日	○第3回教育文化講演会 「個を生かす学習指導」 講師 上智大学教授 加藤 幸次	10月8日	○第5回教育文化講演会 「新しい学力観と評価」 講師 上智教育大学教授 渋谷 憲一

12月24日	○平成5年度前期(第10期)教育研究員「修了式」	4月4日	○平成7年度前期(第13期)教育研究員「入所式」(小学校3名)
<b>平成5年</b>		9月22日	○平成7年度前期(第13期)教育研究員「修了式」
3月29日	○浦添市立教育研究所設置条例施行規則の一部改正	10月2日	○平成7年度後期(第14期)教育研究員「入所式」(幼稚園2名, 小学校2名, 中学校1名)
4月1日	○池原朝子 教育相談員(非常勤) 発令	11月2日	○第7回教育文化講演会 「21世紀を生きる子供たちのために」 講師 NEC主席研究員 佐藤 隆博
4月2日	○平成5年度前期(第10期)教育研究員「入所式」(幼稚園1名, 小学校4名, 中学校2名)	<b>平成8年</b>	
7月27日	○平成5年度前期(第10期)教育研究員「修了式」	3月19日	○平成7年度後期(第14期)教育研究員「修了式」
7月31日	○池原朝子 教育相談員退職	3月31日	○与那覇武 研究係長解任(下地町立下地中学校 教頭へ人事異動のため) ○山田輝子 特別研究員退所(浦添市立港川中学校へ)
8月1日	○島袋常正 教育相談員(非常勤) 発令		
9月3日	○平成5年度後期(第11期)教育研究員「入所式」(幼稚園1名, 小学校4名, 中学校2名)		
10月5日	○第6回教育文化講演会 「自己教育力を育てる授業と評価」 講師 京都女子大学教授 北尾 倫彦		
12月27日	○平成5年度後期(第11期)教育研究員「修了式」	4月1日	○高原安哲 研究係長発令, 宮城康子 特別研究員入所 ○「嘱託医による登校拒否児童生徒の教育相談事業」指導課から研究所へ所管替え
<b>平成6年</b>		4月2日	○平成8年度前期(第15期)教育研究員「入所式」(小学校2名, 中学校1名)
2月3日	○カウンセリング講演会 講師 沖縄キリスト教短期大学教授 渡久地 政順	5月21日	○研究協力員(中学校コンピュータ) 発足
3月10日	○「教育相談のあゆみ」報告会	9月25日	○平成8年度前期(第15期)教育研究員「修了式」
3月31日	○諸見里稔 研究係長解任(那覇市立城南小学校 教頭へ人事異動のため) ○島袋常正 教育相談員退職	10月1日	○平成8年度後期(第16期)教育研究員「入所式」(幼稚園2名, 小学校2名, 中学校1名)
4月1日	○新嘉喜守 研究係長発令 ○稲葉律子 教育相談員(非常勤) 発令	<b>平成9年</b>	
9月8日	○平成6年度(第12期)教育研究員「入所式」(幼稚園2名, 小学校4名, 中学校3名)	3月25日	○平成8年度後期(第16期)教育研究員「修了式」 ○與那城太一 主任解任(生涯学習振興課へ人事異動のため)
<b>平成7年</b>		3月31日	
3月20日	○平成6年度(第12期)教育研究員「修了式」	4月1日	○嘉手川博美 主任発令
3月31日	○所長 前田 貢(非常勤) 任期満了了解任 ○新嘉喜守 研究係長解任(那覇市立金城小学校 教頭へ人事異動のため)	4月2日	○平成9年度前期(第17期)教育研究員「入所式」(小学校3名)
4月1日	○所長 田中一郎(非常勤) 発令 ○与那覇武 研究係長, 當間正和 指導主事発令	5月22日	○研究協力員(校内研, コンピュータ) 発足
		7月20日	○適応指導教室移転(旧消防庁舎からあかひらステーションビル3Fへ)
		9月25日	○平成9年度前期(第17期)教育研究員「修了式」

10月1日	○平成9年度後期（第18期）教育研究員 「入所式」 （幼稚園2名，小学校2名，中学校1名）	10月1日	○平成11年度後期（第22期）教育研究員「入所式」（幼稚園2名，小学校1名，中学校2名）
10月30日	○第8回教育文化講演会 「子ども理解とカウンセリングのすすめ」 講師 国際日本文化研究センター所長 河合 隼雄	10月28日	○第9回教育文化講演会 「育てるカウンセリングのすすめ」 講師 聖徳栄養短期大学教授 國分康孝
<b>平成10年</b>		<b>平成12年</b>	
3月25日	○平成9年度後期（第18期）教育研究員 「修了式」	3月27日	○平成11年度後期（第22期）教育研究員 「修了式」
3月31日	○専任所長 田中一郎（非常勤）任期満了 ○高原安哲 研究係長解任（沖縄市立美里小学校教頭へ人事異動のため） ○宮城康子 特別研究員退所（浦添市立港川中学校へ）	3月31日	○池田博暁 研究係長解任（浦添市立当山小学校教頭へ人事異動のため） ○嘉手川博美 主任解任，仲西弘子 特別研究員退所（那覇市立古蔵中学校へ）
4月1日	○専任所長 新城英将（非常勤）発令 ○池田博暁 研究係長発令，仲西弘子 特別研究員入所	4月1日	○新川純子 研究係長発令，原國るり子 特別研究員入所，饒平名洋子 主任発令
4月2日	○平成10年度前期（第19期）教育研究員 「入所式」（小学校2名，中学校1名）	4月4日	○平成12年度第23期（前期）教育研究員 「入所式」（小学校2名，中学校1名）
5月19日	○研究協力員（小学校算数科診断的学力検査分析・考察，中学校教育用コンピュータ導入計画）発足	6月21日	○研究協力員発足（総合的な学習，情報教育）
9月25日	○平成10年度前期（第19期）教育研究員 「修了式」	9月13日	○第23期教育研究員「研究成果報告会」
10月2日	○平成10年度後期（第20期）教育研究員「入所式」（幼稚園2名，小学校2名，中学校1名）	9月25日	○第23期（前期）教育研究員「修了式」
<b>平成11年</b>		10月2日	○第24期（後期）教育研究員「入所式」（幼稚園2名，小学校3名）
3月26日	○平成10年度後期（第20期）教育研究員 「修了式」	<b>平成13年</b>	
3月31日	○當間正和 指導主事解任（那覇市立寄宮中学校教諭へ人事異動のため）	3月8日	○第24期教育研究員「研究成果報告会」
4月1日	○与古田思信 指導主事発令	3月28日	○第24期（後期）教育研究員「修了式」
4月2日	○平成11年度前期（第21期）教育研究員 「入所式」（小学校3名）	3月31日	○専任所長 新城英将（非常勤）任期満了 ○与古田思信 指導主事解任（浦添市立神森小学校教諭へ 人事異動のため）
5月18日	○研究協力員（総合的な学習Q&A，コンピュータ活用実践事例集）	4月1日	○専任所長 大城淳男（非常勤）発令， 山里昌樹 指導主事発令
9月28日	○平成11年度前期（第21期）教育研究員 「修了式」	4月2日	○平成13年度第25期（前期）教育研究員 「入所式」（小学校2名，中学校1名）
		6月19日	○研究協力員発足（総合的な学習，情報教育）
		9月6日	○第25期教育研究員「研究成果報告会」
		9月20日	○第10回教育文化講演会 「ポートフォリオ 評価&プロジェクト学習」 講師 千葉大学教育学部／関東学院大学 工学部講師 鈴木 敏恵
		9月25日	○第25期（前期）教育研究員「修了式」

10月2日	○第26期(後期)教育研究員「入所式」 (幼稚園2名, 小学校1名, 中学校2名)	4月1日	○専任所長 比嘉信勝(非常勤) 発令 大田朝健 特別研究員入所
<b>平成14年</b>		4月2日	○第31期(前期)教育研究員「入所式」 (小学校2名、中学校1名)
3月13日	○第26期教育研究員「研究成果報告会」	9月7日	○第31期教育研究員「研究成果報告会」
3月25日	○第26期(後期)教育研究員「修了式」	9月28日	○第31期(前期)教育研究員「修了式」
3月31日	○新川純子 研究係長解任(名護市立久志小学校校長へ 人事異動のため) ○原園るり子 特別研究員退所(那覇市立小祿中学校へ)	10月4日	○第32期教育研究員「入所式」(幼1, 小3)
		12月28日	○指導主事 山里昌樹 途中解任(城岳小学校教頭へ人事異動のため) ○指導主事 石川博基 発令
		<b>平成17年</b>	
4月1日	○當間正和 研究係長発令, 多良間速子 特別研究員入所	3月17日	○第32期教育研究員「研究成果報告会」
4月2日	○第27期(前期)教育研究員「入所式」 (小学校2名, 中学校1名)	3月23日	○教育相談事業成果報告会
7月2日	○情報教育推進委員会発足	3月28日	○第32期(後期)教育研究員「修了式」
9月11日	○第27期教育研究員「研究成果報告会」	3月31日	○事務主査 饒平名洋子(内間小図書司書へ 人事異動のため)
9月25日	○第27期(前期)教育研究員「修了式」		
10月2日	○第28期(後期)教育研究員「入所式」 (幼稚園1名, 小学校2名, 中学校1名)	4月1日	○事務主事 仲北聡子発令
12月25日	○文化講演会「首里城の生活 表と裏!」 講師 浦添市教育委員会教育長 大盛 永意	4月4日	第33期教育研究員「入所式」 (小学校3名、中学校1名)
<b>平成15年</b>		8月4日	○第12回教育文化講演会 講師 有田和正 「今求められている基礎学力を育てる指導のあり方 一教師の生きがいを求めながら」
3月11日	○第28期教育研究員「研究成果報告会」	9月29日	○教育研究員「研究成果報告会」「修了式」
3月25日	○第28期(後期)教育研究員「修了式」	10月4日	○第34期教育研究員「入所式」(幼1、中1)
		<b>平成18年</b>	
4月2日	○第29期(前期)教育研究員「入所式」 (小学校2名、中学校1名)	2月23日	○教育相談事業報告会
8月26日	○第11回教育文化講演会「情報化社会をになう 人材育成」 国立教育政策研究所講師 清水康敬	3月16日	○教育研究員成果報告会
9月4日	○第29期教育研究員「研究成果報告会」	3月29日	○第34期教育研究員「修了式」
9月25日	○第29期(前期)教育研究員「修了式」	3月31日	○研究係長 當間正和 解任(伊江中学校教頭へ 人事異動のため) 大田朝健 特別研究員退所 (那覇市立城北中へ)
10月2日	○第30期(後期)教育研究員「入所式」 (幼稚園2名、小学校1名、中学校2名)		
<b>平成16年</b>		4月1日	○研究係長 石川博基 指導主事 比嘉清喜 事務主事 與那城太一 発令 特別研究員 新垣桂子入所 ○学校の教育用コンピュータの設置、教材ソフトの整備の事務が、学務課から移管、担当職員1人増
3月9日	○第30期教育研究員「研究成果報告会」	10月11日	○第35期研究員入所式 (幼稚園1、小学校2、中学校3)
3月16日	○適応指導教室成果報告会		
3月25日	○第30期(後期)教育研究員「修了式」		
3月31日	○専任所長 大城淳男(非常勤) 任期満了 ○多良間速子 特別研究員退所(浦添市立仲西中学校へ)		

<p><b>平成19年</b></p> <p>2月27日 ○教育相談事業報告会</p> <p>3月13日 ○研究員成果報告会（1日目）</p> <p>3月15日 ○研究員成果報告会（2日目）</p> <p>3月27日 ○第35期研究員修了式</p> <p>3月31日 ○専任所長 比嘉信勝（非常勤）任期満了</p>	<p>3月31日 ○教育相談事業の統合 研究所教育相談員はこども青少年課こども育成係へ移管 山里崇 特別研究員 退所（浦添市立神森中学校へ）</p>
<p>4月1日 ○専任所長 山城武則（非常勤）発令</p> <p>8月3日 ○第13回教育文化講演会 講師 梶田叡一 「教育改革の展望 ～今、教師に求められていること～」</p> <p>10月3日 ○専任所長 宮城むつみ（非常勤）発令</p> <p>10月10日 ○第36期研究員入所式 （幼稚園1、小学校2、中学校2）</p>	<p>4月1日 ○小学校PC室に5年リースパソコン導入 ○特別研究員 金城光明 入所</p> <p>10月13日 ○第39期研究員入所式 （幼稚園1、小学校1、中学校1）</p>
<p><b>平成20年</b></p> <p>2月21日 ○教育相談事業報告会</p> <p>3月11日 ○教育研究員成果報告会</p> <p>3月27日 ○第36期教育研究員「修了式」</p> <p>3月31日 ○仲北聡子 主任解任（市民課へ 人事異動のため） 知花桂子 特別研究員退所（浦添市立港川中学校へ）</p>	<p><b>平成23年</b></p> <p>2月24日 ○教育相談事業報告会</p> <p>3月14日 ○教育研究員成果報告会</p> <p>3月25日 ○第39期教育研究員「修了式」</p> <p>3月31日 ○専任所長 宮城むつみ（非常勤）任期満了 ○比嘉清喜 研究係長 解任（浦添市立浦西中学校教頭へ人事異動）</p>
<p>4月1日 ○特別研究員 山里崇 入所 ○事務主事 儀間恵子発令</p> <p>10月15日 ○第37期研究員入所式 （幼稚園1、小学校2、中学校1）</p>	<p>4月1日 ○研究係長 島袋優 指導主事 山里崇 発令 ○専任所長 知名道博（非常勤）発令</p> <p>8月2日 ○第15回教育文化講演会 講師 汐見稔幸 「みんなで一緒にのびのび子育て ～育つ楽しさ、育てる素晴らしさ～」</p> <p>10月12日 ○第40期研究員入所式 （幼稚園1、小学校1、中学校1）</p>
<p><b>平成21年</b></p> <p>2月24日 ○教育相談事業報告会</p> <p>3月13日 ○教育研究員成果報告会</p> <p>3月26日 ○第37期教育研究員「修了式」</p> <p>3月31日 ○儀間恵子 主任解任（学務課へ 人事異動のため） 石川博基 研究係長 解任（松川小学校教頭へ人事異動のため）</p>	<p><b>平成24年</b></p> <p>3月5日 ○教育相談事業報告会</p> <p>3月14日 ○教育研究員成果報告会</p> <p>3月28日 ○第40期教育研究員「修了式」</p> <p>3月31日 ○平良昌代 主任解任 環境保全課へ ○金城光明 特別研究員 退所（浦添市立神森中学校へ）</p>
<p>4月1日 ○研究係長 比嘉清喜 指導主事 島袋優 事務主事 平良昌代 発令</p> <p>9月24日 ○第14回教育文化講演会 講師 河村茂雄 「子どもの心を育てる学級経営 ―カウンセリングやQ-Uを活用して―」</p> <p>10月14日 ○第38期研究員入所式 （幼稚園1、小学校1、中学校1）</p>	<p>4月1日 ○事務主事 名城めぐみ 発令 ○特別研究員 與世原朝史 入所</p> <p>10月10日 ○第41期研究員入所式 （幼稚園1、小学校1、中学校1）</p>
<p><b>平成22年</b></p> <p>2月23日 ○教育相談事業報告会</p> <p>3月15日 ○研究員成果報告会</p> <p>3月25日 ○第38期研究員修了式</p>	<p><b>平成25年</b></p> <p>2月26日 ○教育相談事業報告会</p> <p>3月25日 ○教育研究員成果報告会 ○第41期教育研究員「修了式」</p> <p>3月31日 ○島袋優 研究係長 解任（前田小学校教頭へ人事異動） ○與世原朝史 特別研究員 退所（県立若夏学院へ）</p>

4月1日	○研究係長 山里崇 指導主事 日高聡 発令 ○特別研究員 上原琢磨 入所 ○小中学校5年リース機器入替(H25~H29) ・小中学校校内LAN用(教育用)ICT機器 ・小中学校図書館貸出用PC ・中学校コンピュータ室用PC		
8月2日	○旧教育研究所「お別れ会」		
8月13日	○第16回教育文化講演会 講師 赤堀博行 「今、求められる道德教育の充実」		
8月16日	○新教育研究所建築開始(～H26.3.28) 財源:【地域の元気臨時交付金】		
10月15日	○第42期研究員入所式 (幼稚園1、小学校1、中学校1)		
<b>平成26年</b>			
2月25日	○教育相談事業報告会		
3月25日	○教育研究員成果報告会		
3月28日	○新教育研究所竣工 【総建築費:115,190,250円】		
3月31日	○第42期教育研究員修了式 ○専任所長 知名道博(非常勤)任期満了 ○上原琢磨 特別研究員 退所(浦添市立浦西中学校へ)		
~~~~~			
4月1日	○専任所長 仲西起實(非常勤)発令 ○特別研究員 小脇雅代 入所		
4月30日	○浦添市立教育研究所「落成式・祝賀会」		
10月14日	○第43期研究員入所式 (幼稚園1、小学校1、中学校1)		
<b>平成27年</b>			
2月24日	○教育相談事業報告会		
3月25日	○教育研究員成果報告会 ○第43期教育研究員「修了式」		
3月31日	○山里崇 研究係長 解任(浦添中学校教頭へ 人事異動) ○主任主事 與那城太一 解任(中央公民館 分館へ人事異動) ○小脇雅代 特別研究員 退所(神森中学校へ)		
~~~~~			
4月1日	○研究係長 日高聡 指導主事 美差淳司 主任主事 比嘉健 発令 ○特別研究員 喜久里成子 入所		

# 歴代所長・所員

年度	所長	主査 研究係長	指導主事	事務主事	図書司書	教育相談員	適応指導教室			IT指導員										
							担当教諭	適応指導員	心理判定員											
S63	西里良輝 (兼任指導課長)	大城昌周 (主査)		金城京子 (非常勤)	慶田元順子 (非常勤)															
H1				慶田元順子 (臨時)							平良智子 (臨時)									
H2				島袋友子 (臨時)							小渡裕子 (臨時)									
H3	福山朝秀 (専任・非常勤)	諸見里稔 (主査)		島袋友子 (臨時)	内村恭子 (臨時)															
H4											與那城太一	山田輝子 (指導課)								
H5	栄 あゆみ (臨時)	山田輝子 (青少年センター)																		
H6			新嘉喜守 (係長)	山田輝子																
H7	田中一郎 (専任・非常勤)	与那覇武 (係長)	當間 正和	嘉手川博美	宮城睦代 (臨時)	稲葉 律子	山田輝子	宮城康子	佐藤 聡美	運天 英樹										
H8											座間味郁枝 (臨時)									
H9												山城敦子 (臨時)								
H10	新城英将 (専任・非常勤)	池田博眺 (係長)	与古田 思信	嘉手川博美	岸本美智子 (臨時)	仲西 紀子 仲栄真美奈子	仲西 弘子	仲西 弘子	兼田 直美	名嘉 良壯										
H11											武元美然乃 (臨時)	佐藤 聡美	原国るり子							
H12														新川純子 (係長)	岸本美智子 (臨時)	多良間速子	名嘉良壯	上田和歌子		
H13	大城淳男 (専任・非常勤)	當間 正和 (係長)	山里 昌樹	饒平名洋子	武元美然乃 (臨時)	仲栄真美奈子 喜納 菜摘	喜納 菜摘 兼田 直美	大田 朝健	伊禮 申	諸見川清徳、比嘉律子、上田和歌子、 奥平徳、池田良、山川雪子、比嘉満、 與儀惠吉										
H14											比嘉進、與儀惠吉、比嘉進、濱崎守 宮国真理子、島袋洋子									
H15												山里昌樹 石川博基	仲北聡子	岸本美智子 (臨時)	兼田 直美 上田和歌子 又吉幸代	朝健	吉原千晴	比嘉進、與儀惠吉、 國吉伸明、神里 睦		
H16	比嘉信勝 (専任・非常勤)	石川博基 (係長)	比嘉清喜	仲北聡子 與那城太一	慶田元順子 (臨時)	又吉幸代 西田佐希子	新垣桂子	崎山広和	宇栄原 早紀子	比嘉進、與儀惠吉、 國吉伸明、神里睦										
H17											石川博基	仲北聡子	岸本美智子 (臨時)	大澤亨子 橋本瑞子	山里 崇	宇栄原 早紀子	宮城夕希	宮城夕希	江嶋 幸	比嘉進、與儀惠吉、 宇根かおり、武元美然乃
H18																				
H19	宮城むつみ (専任・非常勤)	比嘉清喜 (係長)	島袋優	平良昌代 與那城太一	岸本美智子 (臨時)	こども青少年課へ移管	金城光明	江嶋 幸	仲地真理	比嘉恵理、與儀惠吉、 國吉伸明、山本久美子 知花史代 (ICT支援員)										
H20											山里 崇	名城めぐみ 與那城太一	知花史代 (臨時)	西村佳代子	大城 理有子	與儀惠吉 比嘉恵理 國吉伸明 上門幸江 (ICT授業支援員) 金城 睦 (ICT授業支援員)				
H21																	山里 崇	名城めぐみ 與那城太一	知花史代 (臨時)	西村佳代子 田端 宏太郎
H22	山里 崇	名城めぐみ 與那城太一	知花史代 (臨時)	小脇雅代	田端 宏太郎	與儀惠吉 比嘉恵理 國吉伸明														
H23							山里 崇	名城めぐみ 與那城太一	知花史代 (臨時)	喜久里成子	長濱祐子	國吉伸明 本間佳多倫 山本久美子								
H24	山里 崇	名城めぐみ 與那城太一	知花史代 (臨時)	喜久里成子	長濱祐子	國吉伸明 本間佳多倫 山本久美子														
H25							山里 崇	名城めぐみ 與那城太一	知花史代 (臨時)	喜久里成子	長濱祐子	國吉伸明 本間佳多倫 山本久美子								
H26	山里 崇	名城めぐみ 與那城太一	知花史代 (臨時)	喜久里成子	長濱祐子	國吉伸明 本間佳多倫 山本久美子														
H27							日高聡 (係長)	美差淳司	名城めぐみ 比嘉 健	慶田元順子 (臨時)										

# 教育研究員研究主題一覧

平成27年3月31日現在

幼稚園40人、小学校101人、中学校59人 計200人

[幼稚園] (40人)

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
1	H1	東江 すま子	沢岷幼稚園	幼稚園教育	幼児がすすんで遊ぶための工夫 ー戸外遊びを通してー
2	H1	山城 信子	浦城幼稚園	幼稚園教育	子供が自分から進んで活動するための援助の工夫 ー教師の言葉かけを中心にー
3	H2	野原 順子	内間幼稚園	幼稚園教育	遊びを通して主体的に活動する子どもが育つための援助の工夫 ー園生活を通してー
4	H2	比嘉 悦子	牧港幼稚園	幼稚園教育	人とのかかわりをもつ力が育つための授業の工夫
5	H3	比嘉 美智子	神森幼稚園	幼稚園教育	幼児が自己充実するための援助の工夫 ー戸外遊びを通してー
6	H3	鈴木 紀子	沢岷幼稚園	幼稚園教育	幼稚園教育における福祉教育 ー思いやりの心を育てるためのてだてー
7	H4	比嘉 悦子	宮城幼稚園	幼稚園教育	幼児が自発的に活動するための援助のあり方 ー遊びの場面を通してー
8	H4	高江州 弘美	前田幼稚園	幼稚園教育	幼児が共に育ちあう友だち関係をつくるための援助はどうあるべきか ー遊びの場においてー
9	H5	仲里 紀美子	仲西幼稚園	幼稚園教育	思いやりのある子が育つための援助の工夫 ー自然やまわりの人々とのかかわりとおしてー
10	H5	金城 文子	当山幼稚園	幼稚園教育	園教育を充実させるための家庭との連携 ー園行事を通してー
11	H6	平良 順子	港川幼稚園	幼稚園教育	完成豊かな子にするための援助の工夫 ー身近な素材を使った造形活動を通してー
12	H6	島袋 悦子	沢岷幼稚園	幼稚園教育	幼稚園生活を楽しく過ごす援助の工夫 ー自ら選ぶ活動を通してー
13	H7	高安 幸子	神森幼稚園	幼稚園教育	園運営の活性化 ー園務分掌運営の工夫ー
14	H7	池間 すえ子	当山幼稚園	幼稚園教育	豊かな表現活動のできる子どもの育成 ー話す、聞く力を育てる環境の工夫ー
15	H8	友利 愛子	浦城幼稚園	幼稚園教育	幼児が進んで体を動かして遊ぶための工夫 ー固定遊具の活用を通してー
16	H8	名嘉 房江	牧港幼稚園	幼稚園教育	思いやりの心が育つための援助 ー身近な小動物とのかかわりを通してー
17	H9	伊敷 佑子	仲西幼稚園	幼稚園教育	幼児が一人一人の良さを生かし、友達や教師と共に元気に生活する ー園行事への取り組みを通してー
18	H9	安富 りえ子	港川幼稚園	幼稚園教育	遊びを通して数や形の感覚を育てる援助の工夫
19	H10	幸地 美佐子	仲西幼稚園	幼稚園教育	子どものよさを生かす学級づくりを目指して ー学級での活動のなかでー
20	H10	比嘉 涼子	宮城幼稚園	幼稚園教育	郷土の文化に親しませるための教材の工夫 ー一年中行事やことわざなどの教材化ー

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
21	H11	宮城清美	当山幼稚園	幼稚園教育	3・4歳児保育における教育課程の研究
22	H11	末吉弘枝	牧港幼稚園	幼稚園教育	3・4歳児保育における教育課程の研究
23	H12	上原朝子	港川幼稚園	幼稚園教育	話す力を育む援助の工夫—言葉を楽しむ活動を通して—
24	H12	新垣順子	沢岬幼稚園	幼稚園教育	人とかかわる力を育てるための環境の工夫—異文化とのふれあいを通して—
25	H13	玉城妙子	当山幼稚園	幼稚園教育	人とかかわる力を育てるための保育の工夫—地域の人や異年齢の人との交流を通して—
26	H13	下地章子	宮城幼稚園	幼稚園教育	幼稚園における道徳性の芽生えを培うための援助の工夫—園生活の遊びを通して—
27	H14	平田輝代美	神森幼稚園	幼稚園教育	幼児が進んで絵本に親しむための援助の工夫—4歳児における読み聞かせの実践を通して—
28	H15	小谷美枝子	牧港幼稚園	幼稚園教育	人とかかわる力を育てるための援助の工夫—年中児との交流を通して—
29	H15	城間安子	浦添幼稚園	幼稚園教育	幼児が楽しく描画活動をするための援助の工夫—いろいろな技法遊びを通して—
30	H16	根間章子	浦城幼稚園	幼稚園教育	子どもの健やかな心と体の発達を目指して—食に関する興味や関心を高める活動の工夫—
31	H17	宮城里江	沢岬幼稚園	幼児教育	幼児が進んで絵本に親しむための援助の工夫—読書アニメーション的手法を通して—
32	H18	崎原聖子	宮城幼稚園	幼児教育	幼児の好奇心や探究心を育むための援助の工夫—身近な自然とのかかわりを通して—
33	H19	嘉数照枝	浦城幼稚園	幼児教育	身近な自然に親しみ心豊かな子を育てるための環境構成と援助の工夫—砂や土との関わりを通して—
34	H20	小橋川泉美	浦城幼稚園	幼児教育	自分なりの表現を楽しみ、豊かな感性を養うための援助の工夫—身体表現を通して—
35	H21	松原朝子	神森幼稚園	幼稚園 健康	自ら体を動かして遊ぶ子を育てるための援助の工夫—戸外での運動遊びを等して—
36	H22	平良奈津子	浦添幼稚園	幼稚園 健康	社会生活習慣を身につけるための援助の工夫—幼稚園と家庭との連携を通して—
37	H23	屋嘉比量子	浦城幼稚園	幼稚園 環境	数量を楽しむ子が育つための環境と援助の工夫—生活や遊びを通して—
38	H24	與那覇純	当山幼稚園	幼稚園 言葉	幼児が言葉で伝え合う喜びを味わうようになるための援助の工夫—協同して遊ぶ活動を通して—
39	H25	眞境名太樹	牧港幼稚園	幼稚園 表現	かいたりつくったりする活動において表現を楽しむ子の育成—身近な材料の提示や教師の援助の工夫を通して—
40	H26	前田一美	沢岬幼稚園	幼稚園 健康	進んで体を動かすことを楽しむ幼児の育成—多様な動きのある運動遊びと環境構成の工夫を通して—

[小学校] (101人)

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
1	S63	諸見里 信子	当山小学校	生活科	身の回りの事象に自ら働きかける子どもの育成 ー身近な素材を使った遊びを通してー
2	S63	与儀 啓子	宮城小学校	生活科	自ら学びとる力の基礎につちかう生活科の実践的研究 ー子どもの体験的な活動を通してー
3	H1	下地 トミ子	当山小学校	国語科	読書の意欲を高める指導方法の工夫 ー2年国語教材「ひなののはなし」の指導を通してー
4	H1	津波 淳子	宮城小学校	算数科	自ら考え解決していく力を育てる学習指導過程の工夫 ー2年生引き算の指導を通してー
5	H1	新垣 直昭	当山小学校	算数科	数台のコンピュータを一斉指導で活用した指導法改善の ー工夫ー「分数単元ドリルソフト」の作成を通してー
6	H1	宮平 好子	神森小学校	理科	子どもが課題意識を持ち継続観察するための指導の工夫 ー3年「樹木と季節」のワークシート作成を通してー
7	H1	初鹿野 修	神森小学校	社会科	児童が楽しく授業に取り組むための教育機器の活用 ー6年社会科「戦乱の世と天下の統一」のTP教材作成を通してー
8	H1	大城 寿代	浦添小学校	生活科	自ら自然に親しみ、働きかける子どもの育成 ーハツカダイコンの栽培を通してー
9	H1	金城 節子	沢岬小学校	特殊教育	軽度ちえ遅れにおけるやる気を持たせる指導工夫 ー物語教材の音読、朗読を通してー
10	H2	山城 久美子	沢岬小学校	国語科	豊かな想像力を育てる音読、朗読の指導 ー物語教材「大造じいさんとがん」を通してー
11	H2	野原 幸男	牧港小学校	理科	学校内の植物を生かした理科学習 ー校内の樹木と野草の素材研究ー
12	H2	上田 正弘	港川小学校	社会科	コンピュータを活用した情報活用能力を身につけさせるための試み ー5年社会科「伝統に生きる工業」の学習教材ソフト作り
13	H2	中川 みよ	当山小学校	社会科	子どもが意欲的に取り組む指導方法の工夫 ー4年さとうきびと人々の暮らしを通してー
14	H2	照屋 明美	浦城小学校	社会科	子どもが意欲的に学ぶ授業づくり ー歴史教材における発問の工夫ー
15	H2	福地 哲功	前田小学校	社会科	社会科におけるコンピュータを利用した授業の改善 ーFCAIによる「学校のおかしと今」の単元ソフトづくりー
16	H2	比嘉 律子	前田小学校	学級経営	意欲的に活動する子どもを育てるための工夫 ー学級におけるかかり活動を通してー
17	H2	伊保 君子	内間小学校	教育相談	学級におけるよりよい人間関係を育てる工夫 ーカウンセリングマインドを通してー
18	H3	木村 まち子	港川小学校	国語科	入門期の音読指導はどのようにしたらよいか ー聴覚の活用を通してー
19	H3	大嶺 愛子	宮城小学校	算数科	見通しをもち、自ら学ぶ力を育てる算数指導のあり方 ー1年生繰り上がりのある足し算の指導を通してー
20	H3	砂川 直子	浦添小学校	理科	せいっぱい自然に働きかけ、よりよい環境づくりをめざす子どもの育成 ー野鳥等野生生物の森づくりに関する活動を通してー
21	H3	宮国 和之	港川小学校	理科	児童がコンピュータを活用して意欲的に取り組む理科学習のあり方 ー植物検索ソフトの活用を通してー

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
22	H3	中村 ひで子	沢岷小学校	社会科	課題を見つけ、追求する子を育てる社会科指導の工夫 －6年生の歴史学習を通して－
23	H3	下地 福子	浦城小学校	生活科	生活科における教師の児童への関わり方はどうあるべきか －「おもちゃ大会」の展開を通して－
24	H3	金嶺 邦子	仲西小学校	特殊教育	ひらがな読み習得のための段階的指導 －教材、教具の活用を通して－
25	H4	伊波 智子	浦城小学校	国語科	説明文教材を読み深めるため授業の工夫 －学習過程工夫を通して－
26	H4	後藤 岳二	仲西小学校	算数科	授業改善のためのコンピュータの効果的な活用法 －算数科におけるCAI学習ソフトを使った学習指導－
27	H4	細原 智子	浦添小学校	算数科	基礎、基本を重視した問題解決能力を育てる授業の工夫 －分数、小数の導入を通して－
28	H4	下門 節子	当山小学校	生活科	活動や体験を大切に、自然に親しむ子の育成 －第1学年「公園で遊ぼう」の単元を通して－
29	H4	宇根 教子	浦添小学校	生活科	生活科で環境教育をどう実践するか －1学年単元「あきとあそぼう」を通して－
30	H4	岩本 輝子	内間小学校	体育科	一人ひとりが喜んで取り組む水泳指導の工夫
31	H4	平川 美千代	沢岷小学校	学級経営	自ら実践する態度を育てる学級活動のあり方 －協力しあい、主体的に実践できる話し合いの工夫指導－
32	H4	下地 洋子	当山小学校	教育相談	不登校克服へ向けての指導 －神経症的な登校拒否の場合－
33	H5	宮城 克枝	神森小学校	国語科	豊かに読み取らせる説明文の指導 －書く活動を取り入れた読みの指導を通して－
34	H5	大浜 千枝	仲西小学校	国語科	確かな読みの力を育てる説明文の指導 －体験し書く活動を取り入れて－
35	H5	石嶺 球代	宮城小学校	音楽科	児童が主体的に取り組む音楽学習を通して －6学年の歌唱指導を通して－
36	H5	松田 哲哉	当山小学校	体育科	意欲的、主体的学習をめざすビデオ教材の作成と活用 －6学年マット運動の学習を通して－
37	H5	金城 剛	沢岷小学校	体育科	主体的に運動の楽しさを味わう学習指導の工夫 －障害走における個に応じたためあての持たせ方、場の工夫、学種評価を通して－
38	H5	下地 裕子	浦添小学校	特殊教育	発達に遅れのある子どもの言語指導 －T君の話しことばの指導の工夫－
39	H5	宮城 久子	前田小学校	教育相談	カウンセリングマインドを生かした個々とのかかわり方 －児童の内面理解を通して－
40	H5	玉城 香代子	浦添小学校	特別活動	主体的に学習する力を育てる図書館の利用指導 －3学年生チョウの新聞づくりを通して－
41	H6	崎濱 陽子	前田小学校	社会科	子どもが生き生きと取り組む社会科学習の展開 －3学年「古い道具と人々のくらし」における体験学習を通して－
42	H6	久場 尚美	仲西小学校	生活科	生活科における主体的なかかわり方のできる子の育成 －2学年「のりものにのろう」の体験及び表現活動を通して－

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
43	H6	池畑恵子	当山小学校	学級経営	学ぶ意欲を育てる学級経営 －国語科の学習を通して－
44	H6	山城ヒロ子	宮城小学校	特別活動	子どもの自主性、連帯感、実践力を育てる集団活動のあり方 －児童会活動の指導を通して－
45	H6	細田幸弘	浦城小学校	特別活動	児童会役員の自主的・実践的な態度を育てる指導の工夫 －インフォーマルな活動(児童会まつり)の企画運営を通して
46	H7	新垣公子	沢岷小学校	国語科	豊かな想像力が育つ文学教材の指導の工夫 －低学年の「音読」を中心に－
47	H7	比嘉良成	仲西小学校	算数科	学習指導個別化を目指したコンピュータの活用 －4学年算数科のCAI(コンピュータ支援学習)ソフトづくり－
48	H7	玉寄美津枝	前田小学校	社会科	子どもが主体的に追求する社会科学習の展開 －「稲作」における教材開発をめざして－
49	H7	黒島廣子	港川小学校	音楽科	音楽を愛好する気持ちを育てる音楽学習のあり方について －小編成グループの演奏発表会を通して－
50	H7	新田マリ子	前田小学校	特殊教育	意欲的に学習に取り組む態度を養う工夫 －教材、教具を通して－
51	H8	金城淑子	当山小学校	国語科	－低学年の文学教材の指導を通して－ 創造豊かな読みが育つ学習指導の工夫
52	H8	与古田思信	前田小学校	社会科	小学校における情報活用能力の育成 －小学校社会科天下統一のゆくえでの電子紙芝居を通して－
53	H8	山城奈美	沢岷小学校	学級経営	好ましい対人関係の育成を目指した学級経営の工夫 －ソシオメトリック・テストの活用を通して－
54	H8	棚原憲一	港川小学校	特別活動	「福祉の心」と実践的態度を育てる指導のあり方 －福祉教育(障害者理解)を通して－
55	H9	福里敦子	当山小学校	国語科	児童が生き生きと活動し、自分の良さを伸ばす学習指導の工夫 －単1学習の方法による説明的文章の読み取りを通し
56	H9	佐藤久美	内間小学校	算数科	数学的な考え方を育てる指導の工夫 －4年「小数のわり算」の指導を通して－
57	H9	仲宗根勝也	内間小学校	社会科	課題を共同で追究する授業づくり －地域教材「さつまいも」を生かした歴史学習を通して－
58	H9	前城努	宮城小学校	特別活動	情報化社会における情報教育のあり方とその可能性 －価値ある情報の教材化を生かしたより効果的な授業を目指して－
59	H10	増永邦子	港川小学校	国語科	－構成から作文への学習を通して－ 意欲的に取り組む説明文教材の指導の工夫
60	H10	廣瀬要平	神森小学校	算数科	子どもがわかる算数指導の工夫 －算数科における構造学習法の山登り学習法を活用した授業の改善－
61	H10	金城久美子	沢岷小学校	算数科	算数科における個に応じた学習指導の工夫 －自力解決の場の充実をめざして－
62	H10	大濱裕子	神森小学校	特別活動	温かい人間関係を育む学級づくり －構成的グループ・エンカウンターを通して－
63	H11	崎山嗣一郎	港川小学校	特別活動	一人一人が輝きよさを認め合う学級活動

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
64	H11	仲 皿 ゆきえ	港川小学校	特別活動	感動体験(共感性)を活用した目的意識の発達を目指して -小学校高学年における進路指導の工夫-
65	H11	友 利 宏	牧港小学校	総合的な学習	子どもが生き生きと楽しく取り組める横断的・総合的な学習の展開
66	H11	伊 計 義 治	神森小学校	道徳	心豊かな子どもが育つ道徳指導の工夫 -総合单元的な道徳学習を通して-
67	H12	奥 平 秀 幾	港川小学校	理科	身近な環境問題をとらえ主体的に行動する態度を育てる指導の工夫 -六年理科「人とかんきょう」を通して-
68	H12	作 田 健次郎	当山小学校	社会科	児童の情報活用能力育成の工夫 -米作り体験学習に情報機器メディアを活用して-
69	H12	渡 口 学 子	前田小学校	社会科	自ら学ぶ子を育てる学校図書館の活用 -社会科における調べ学習を通して-
70	H12	北 村 聡	神森小学校	教育相談	よりよい人間関係を育む学級をめざして -学級活動におけるソーシャルスキルの展開を通して-
71	H12	大 村 朝 彦	仲西小学校	道徳	心豊かな子が育つ道徳学習の展開の工夫 -福祉教育を取り入れた総合单元的な学習を通して-
72	H13	久 高 聡 子	港川小学校	国語科	伝え合う力を育てる学習の工夫 -調べたことを書く活動を通して-
73	H13	迫 田 節 子	宮城小学校	総合的な学習	「共に生きる力」を育む総合的な学習の時間の展開 -福祉教育の体験・交流学習を通して-
74	H13	佐久田 悟	前田小学校	道徳	豊かな心を育む道徳授業の工夫 -道徳的価値の自覚を深めるための心に響く読み物資料を活用した学習を通して-
75	H14	新 城 徳 子	浦城小学校	国語科	書く楽しさを味わう作文学習の工夫 -短作文を書くことを通して-
76	H14	比 嘉 豊	港川小学校	算数科	多様な考えを生かした数学的コミュニケーション活動の工夫 -「面積」の学習におけるノート指導を通して-
77	H14	豊 里 太	当山小学校	体育科	子どもたちが水泳の楽しさを味わうことを目指した授業づくり -できる楽しさ・伸びる楽しさ・協力する楽しさを中心に-
78	H14	飛 田 昌 恵	前田小学校	道徳	道徳的価値の自覚を図るゲストティーチャーの活用 -自然とふれあう活動を通して-
79	H15	上 地 尚 美	当山小学校	国語科	文学的文章における内容理解を深めるための指導法の工夫 -音読指導を通して-
80	H15	宇 根 教 子	牧港小学校	社会科	児童の地域への関心を高めるためのWeb教材の開発
81	H15	山 川 志 磨 子	宮城小学校	教育相談	温かい人間関係に支えられた学級づくりをめざして -構成的グループエンカウンターの実践を通して-
82	H16	西 原 克 江	宮城小学校	国語科	読書の喜びを体験させる国語科学習指導の工夫 -読書アニメーション活動の展開を通して-
83	H16	崎 原 律 子	前田小学校	国語科	伝え合う力を育てる国語科学習指導の工夫 -話す・聞く活動の学習指導を通して-
84	H16	片 平 雅 明	浦城小学校	算数科	「数学的な考え方」を育む算数科授業の工夫 -3年 数と計算における算数的活動を通して-

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
85	H16	金城多美子	当山小学校	生活科	主体的に活動する子どもを育てる生活科学習指導の工夫 －身近な自然とのふれあいを通して－
86	H16	古園美香	沢岷小学校	英語	楽しく学び学習意欲を高める英語活動の工夫 －歌・ゲーム等の言語体験的活動を通して－
87	H17	平良葉子	浦添小学校	英語	コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる楽しい英語学習の工夫 －リズム遊びを中心とした指導方法を通して－
88	H17	上原妙子 多良間速子	仲西小学校 仲西中学校	小・中学校 英語	小中学校を通した系統的・発展的な英語科カリキュラムの作成
89	H17	新垣功	沢岷小学校	道徳	思いやりの心を育てる総合単元的な道徳学習の工夫 －第2学年における「構成的グループエンカウンター」を通して－
90	H18	比嘉直美	当山小学校	算数科	思数学的な考え方を育てるための算数的活動の工夫 －第3学年「大きな数」の学習を通して－
91	H18	玉城末子	前田小学校	国語科	「伝えあう力」を育てる音読を取り入れた文学的文章の指導 －第2学年「かさこじぞう」の音声言語活動の工夫－
92	H19	仲間一史	神森小学校	学級活動	互いの立場や個性を理解し他者と関わり合える子の育成 －いじめや不登校に関する積極的な生徒指導の工夫を通して－
93	H19	大城良道	浦城小学校	理科	科学的な思考力を高める指導の工夫 －第4学年「もののあたたまりかた」の学習を通して－
94	H20	平良美智江	浦添小学校	道徳	思いやりの心と道徳的実践力を育てる道徳学習の工夫 －総合単元的な道徳学習を通して－
95	H20	當眞昌子	牧港小学校	学級経営	よりよい人間関係を育むグループアプローチ －第2学年におけるソーシャルスキル教育の実践を通して－
96	H21	井村えりか	浦添小学校	算数科	考える楽しさを味わわせ、量感を豊かにする指導の工夫 －第2学年「長い長さをはかる」の学習を通して－
97	H22	上江洲充孝	浦城小学校	算数科	ICTを効果的に活用した「わかる授業」の工夫 －第5学年「割合」の学習を通して－
98	H23	崎原修	宮城小学校	ICT活用	ICTを効果的に活用した「わかる授業」の工夫 －第5学年「割合」の学習を通して－
99	H24	佐渡山園美	内間小学校	図画工作	表したいことを絵に表現する喜びを味わわせる指導の工夫 －コラージュを取り入れた絵の指導を通して－
100	H25	伊志嶺順子	神森小学校	道徳	道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の工夫 －児童の実態に即した発問構成を通して－
101	H26	喜屋武真史	牧港小学校	理科	科学的な思考力・表現力を育成する指導の工夫 －理科におけるイメージ図と定型文を活用した対話活動を通して－

[中学校] (59人)

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
1	s63	松岡幸子	仲西中学校	国語科	自ら課題を発見し追及する力をつける授業の実践的研究 —小説の読みを通して—
2	s63	伊計聡	神森中学校	技術・家庭科	「情報基礎」領域における指導計画の作成 —指導内容と指導計画の作成を中心として—
3	H1	本永美代	仲西中学校	国語科	形成的評価を取り入れた授業の工夫 —小説「少年の日の思い出」の学習を通して—
4	H1	屋比久志津子	港川中学校	保健	学級指導(学級活動)における性教育 —養護教諭の果たす役割—
5	H1	久高洋子	浦添中学校	道徳	道徳的实践力を育てるための授業の工夫 —人物資料の作成とその活用—
6	H1	新垣和子	神森中学校	学級経営	目的意識を育てる学級経営 —進路指導を基礎として—
7	H1	石川文勇	浦添中学校	学級経営	相談がしやすい短学活相談ノートの研究 —パソコンソフトを利用した制作—
8	H2	砂川米市	神森中学校	技術・家庭科	「情報基礎」領域をどのように指導したらよいか
9	H2	宮里芳嗣	港川中学校	保健体育科	生徒が自ら運動の楽しさを求めて活動する学習指導の工夫 —武道(剣道)の授業をとおして—
10	H2	知花英子	港川中学校	保健体育科	生徒が自ら自発的に取り組む体操学習の工夫 —リズム体操の学習を通して—
11	H2	宮城康子	浦添中学校	国語科	興味・関心を持たせる文法指導の工夫 —1年「文の組み立て」の学習を通して—
12	H3	名護清和	浦添中学校	社会科	地理的な見方・考え方の基礎を身につける指導の工夫 —身近な地域の学習を通して—
13	H3	仲本朝昭	浦添中学校	音楽科	リコーダー指導法の模索 —より楽しく参加できる授業をめざして—
14	H3	城間久子	仲西中学校	保健体育科	生涯スポーツにつながる球技領域の体育学習 —テニス・バドミントン・卓球の指導を通して—
15	H3	諸見武彦	港川中学校	学級経営	学年共同経営の確立をめざす —学年会を通じて—
16	H3	上地タカエ	港川中学校	特別活動	自己理解を深めるための進路学習の工夫 —指導資料の作成と活用を通して—
17	H4	福地公代	浦添中学校	国語科	主体的な学び手が育つ授業を目指して —古典教材「竹取物語」の音読を通して—
18	H4	與座恵子	港川中学校	理科	図書館を利用した理科の学習 —「生物のからだと細胞」の単位において—
19	H4	砂川恵徳	神森中学校	理科	自然に対する興味・関心を育てるための指導工夫 —校内中庭の樹木観察—
20	H4	前富里幸枝	仲西中学校	道徳	郷土を愛する心を育てる道徳教育

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
21	H5	嘉手納千賀子	港川中学校	社会科	生徒が主体的に関われる社会科学学習をめざして ー公民分野ディベートで学習の活性化を考えるー
22	H5	園崎香代子	神森中学校	生徒指導	望ましい行動変容に迫る生徒指導の技法 ー不適應生徒の理解のあり方を中心にー
23	H5	前川朝正	神森中学校	生徒指導	精神症的な登校拒否児童生徒に対する理解と指導方法 ー担任ができる予知・予防・援助をとおしてー
24	H5	国吉悦子	神森中学校	数学科	自ら学ぶ力を育てる課題学習の指導法ー興味・関心を高める教材開発を通してー
25	H6	赤嶺保久	浦西中学校	英語	英語の語順を感覚でつかむ指導法の工夫 ー日本語の語順との比較を通してー
26	H6	当銘由美子	港川中学校	音楽科	合唱の楽しさを感じ、生き生きと歌う生徒の育成をめざして ー合唱指導を通してー
27	H6	濱比嘉五十美	浦添中学校	道徳	礼儀・節度・思いやりを育てるために ー自己及び他者を人間として大切にする信条や態度を養う道徳教育ー
28	H7	上地利造	浦西中学校	社会科	楽しくわかりやすい社会科授業の工夫 ー市販の教育用ソフトの有効活用ー
29	H8	宮里巖	港川中学校	音楽科	学習意欲を高める選択教科(音楽)の指導の工夫-コンピュ ータを活用した創作活動(DTM)-
30	H8	漢那広美	仲西中学校	技術・家庭科	主体的に学ぶ住居学習の工夫 ーコンピュータを活用した住空間の計画ー
31	H8	豊島正幸	神森中学校	国語科	説明的文章の読解力を高めるための指導方法の工夫- 中2教材「包む」を通してー
32	H10	禱晴一郎	浦添中学校	国語科	国語科 生徒が自ら学ぶ指導の工夫 ー国語科、CAIソフトを活用してー
33	H10	知名恵子	浦西中学校	音楽科	生徒一人一人が生き生きと表現する合唱指導の工夫 ーイメージ作りを取り入れた合唱指導を通してー
34	H11	稲福政彦	港川中学校	社会科	社会科における生きる力を育む指導法の研究 ー歴史分野の問題解決学習を通してー
35	H11	末長昭光	神森中学校	理科	情報活用能力を高め生徒が自ら学ぶ態度の育成 ー天体分野でのコンピュータ活用を通してー
36	H12	又吉桂子	港川中学校	進路指導	「あり方 生き方」を育む進路指導の研究
37	H13	盛本勇	浦添中学校	社会科	歴史的事象に対して自ら課題をもち追究する生徒の育成 ー身近な地域の歴史学習を通してー
38	H13	川満竜人	浦添中学校	技術・家庭科	実践的態度を育成する「技術分野」の指導計画の作成 ー「A技術とものづくり」「B情報とコンピュータ」を関連づけた題材の工夫ー
39	H13	金城孝子	仲西中学校	国語科	「伝え合う力」力を高める国語科学習の工夫ー学校図書館を活用した「調べ読み」を通してー
40	H14	金城光明	浦西中学校	国語科	郷土の文学に誇りを持たせる国語科学習の工夫 -教祖文学「琉歌」の教材化を通して-

	年度	氏名	学校(園)名	教科・領域	研究主題
41	H14	大田朝健	神森中学校	音楽科	日本の伝統打楽器を楽しむ指導の工夫 ー太鼓によるリズム表現活動を通してー
42	H15	大城えり子	神森中学校	美術科	生徒が意欲的に活動する美術の授業の工夫 ー生徒の興味関心を高める題材の開発と制作の手引きを活用した指導を通して
43	H15	神森誠司	浦添中学校	技術・家庭科	実習内容の理解を深める動画Webコンテンツの開発
44	H15	大城美千代	浦添中学校	数学科	自ら課題を解決する力を育てる学習指導法の工夫-数学科における自己評価活動の指導と繰り返し学習に支援を通して-
45	H16	平良裕樹	仲西中学校	社会科	郷土への興味・関心を高め、歴史の学び方を身につける学習指導の工夫 ー浦添城跡の教材化と体験活動を通してー
46	H17	上原妙子 多良間速子	仲西小学校 仲西中学校	小・中学校 英語	小中学校を通じた系統的・発展的な英語科カリキュラムの作成
47	H17	宮里リカ子	神森中学校	学級経営	信頼し合える望ましい人間関係を育てる学級指導の工夫 ー学校行事と関連させた「構成的グループエンカウンター」の活動を通して
48	H18	大門由加里	港川中学校	英語	授業で学んだ英語を実践的に使える指導法の工夫 ー小学校における英語活動の実態を踏まえてー
49	H18	上間幹夫	仲西中学校	英語	「テスト」を活用して基礎学力を付ける英語指導の工夫 ーテストのメリットを生かしてー
50	H18	前川朝正	神森中学校	社会科	郷土に対する興味・関心を育む学習指導の工夫 ー選択(社会)における「沖縄の歴史」学習を通してー
51	H19	與座賢二	仲西中学校	社会科	興味・関心と主体性を高める授業の工夫 ー情報機器を効果的に活用した歴史学習を通してー
52	H19	當銘日実子	仲西中学校	英語科	コミュニケーション能力の基礎を培う指導の工夫 ー「読むこと」の指導を通してー
53	H20	金子めぐみ	港川中学校	学校保健	ライフスキル教育を活用したセルフエスティームを高める授業の工夫 ークロスカリキュラムによる性教育の実践を通してー
54	H21	金城園美	浦西中学校	教育相談	自己理解を深め自己への気づきを促す教育相談の工夫 ー自己肯定感を高めるためのエゴグラムの活用を通してー
55	H22	小脇幸人	浦添中学校	理科	ICTを効果的に活用した学習指導の工夫 ー「物質どうしの化学変化」の学習を通してー
56	H23	池田弥生	港川中学校	学級活動	『Q-U』を活用して学級力を高める工夫 ー学級集団におけるルールとリレーションの確立を目指してー
57	H24	盛山兼太郎	浦西中学校	理科	科学的思考力・表現力を育成する理科指導の工夫 ー言語活動の充実を通してー
58	H25	大城綾子	仲西中学校	美術	自己表現力を高める美術指導工夫 ーキャラクターデザインの学習を通してー
59	H26	比嘉麻衣子	仲西中学校	国語	国語科学習における自分の思いや考えを論理的に表現する力を育む指導の工夫 -根拠をもとに美術作品の良さ伝える鑑賞文の指導を通して-

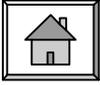
平成27年度 年間行事等予定表(4月～9月)

浦添市立教育研究所

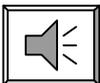
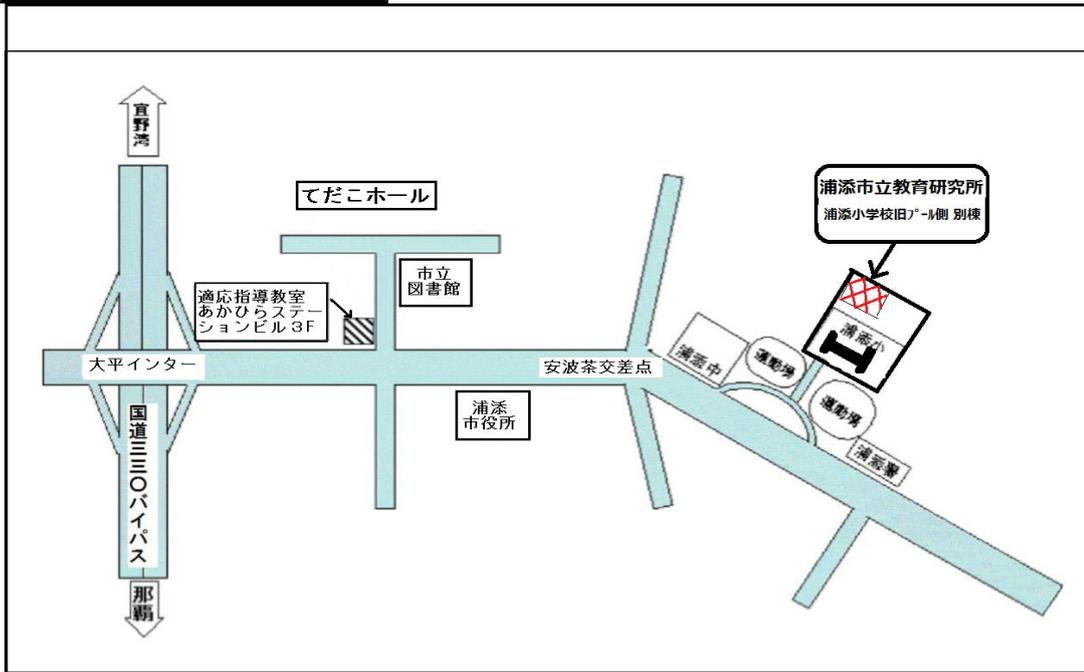
日	4月行事	5月行事	6月行事	7月行事	8月行事	9月行事
1 水	初顔合わせ					
2 木						
3 金	○浦添市初任者研修① △教育相談支援員・生徒センター合同連絡会① □小中生徒指導主事等連絡会①(9:00-6:01)	日 憲法記念日				木 ○入所前研修⑤(仮説等の検討③)
4 土		月 みどりの日	木 ○適応指導教室協力者会(所内教育相談研修会②)	土	火 ○浦添市初任者研修②	金
5 日		火 こどもの日	金 ○「いまあじ」遠足(市内予定)	日		土
6 月	○事務職コンピュータ講座	水 憲法記念日振替休日	土	月	木 ○いまあじ宿泊体験(1日目)	日
7 火	□1学期始業式(小中給食有)	木 ○第1回研究所運営委員会 米盛先生 平田先生	日	火 ○いまあじ七夕会	金 ○いまあじ宿泊体験(2日目)	月
8 水	□小学校(午前)・中学校(午後)入学式	金 ○適応・適応1学期前半始業の会(予定)	月	水	土	火
9 木	○管理職コンピュータ講座+教育委員会① □幼稚園入園式	土	火	木	日	水
10 金		日	水	金	月	木 (所内教育相談研修会④)
11 土		月	木 ○H27小学校校務支援システム連絡協議会	土	火 ○ライフスキル教育研修会(1日目)	金
12 日		火	金 □研究主任研修会(幼小中)15:30～9F講堂 △6・12歳の声かけ運動一斉早期コール作戦7:00	日	水 ○ライフスキル教育研修会(2日目)	土
13 月		水 ○入所前研修会① 基礎講座1「研究の心得」(所長)	土	月 ○所内会議⑤	木 △教育相談員等研修会③14:00	日
14 火	○教育研究所事業説明会(標準学力調査説明会)	木	日	火	金	月
15 水	○管理職コンピュータ講座+教育委員会②	金	月 ○所内会議④	水 ○適応1学期前半終業の会	土	火 ○渡嘉敷いきいき自然体験キャンプ(1日目)
16 木	○コンピュータ主任研修会①(AICT機器活用①)	土	火	木 ○いまあじ保護者会③	日	水 ○渡嘉敷いきいき自然体験キャンプ(2日目)
17 金		日	水	金 □1学期前半終業 第38回うらそえてだこまつり(前夜)	月 ○所内会議⑥	木 ○渡嘉敷いきいき自然体験キャンプ(3日目)
18 土		月 ○所内会議③	木 ○中堅教員研修会①「教育法規」 (幼稚園中堅教員研修講座① 合同開催)	土 第38回うらそえてだこまつり	火	金 ○渡嘉敷いきいき自然体験キャンプ(4日目)
19 日		火 ○いまあじ保護者会①	金	日 第38回うらそえてだこまつり	水 入所前研修④(仮説等の検討②)	土
20 月	○標準学力検査実施期間(20日～24日) ○所内会議②	水 ○情報教育推進委員会 事務局会801予約済	土	月 海の日	木	日
21 火	平成27年度全国学力学習状況調査(小6・中3)	木 ○OQ-U実施活用説明会	日	火 ○研究所夏期講座開始	金	月 敬老の日
22 水	○適応・平成27開級日 ○研究協力員会発足式	金	月	水	土	火 国民の休日
23 木	○ICT機器等活用講習会②	土	火 慰霊の日(条例休)	木 □第9回浦添市英語教育発表会13:30～ てだこホール(IT指導員スタッフで参加)	日	水 秋分の日
24 金	○ICT機器等活用講習会③ ○標準学力検査回収最終日(各学校一業者～)	日	水 ○入所前研修会②(授業参観) ○いまあじ保護者会②	金 ○入所前研修③(仮説等の検討①) (所内教育相談研修会③)	月	木
25 土		月 ○OQ-U調査実施期間 ～ 5月29日(金)	木	土	火 □1学期後半始業(中) 中学校給食有	金
26 日		火	金 ○適応・平和学習②(平和祈念資料館)	日	水 □1学期後半始業(小) 小学校給食有 旧盆(ウンケー)	土
27 月	○ICT機器等活用講習会④	水 ○第1回 情報教育推進委員会 702予約済 ○市内小中学校保護者交流会「てだこすずなの会」① (所内教育相談研修会①)	土	月	木	日
28 火	○ICT機器等活用講習会⑤	木 ○学力検査結果活用説明会	日	火	金 旧盆(ウーキ) 小中学校休業日	月 ○所内会議⑦
29 水	昭和の日	金 ○OQ-Uアンケート用紙回収最終日(各学校一業者)	月	水 幼稚園園長・副園長連絡協議会③9:00 ○AET研修会⑩ □外国語活動研修会②	土	火 ○幼稚園中堅教員研修講座②
30 木		土	火	木 ○AET研修会⑩ □外国語活動研修会③	日	水 ○いまあじ保護者会⑤
		日		金 ○教育文化講演会(てだこホール)	月 ○適応1学期後半始業の会	

平成27年度 年間行事等予定表(10月～3月) 浦添市立教育研究所

日	10月行事	11月行事	12月行事	1月行事	2月行事	3月行事
1 木			火	金 元旦	月 (所内研究報告書検討会①)	火 ○コンピュータ主任研修会③
2 金			水	土	火	水 ○適応・修了の会 (報告書印刷・丁合)
3 土		火 文化の日	木	日	水 ○第5回研究協力員会	木 (製本発注)
4 日		水 ○所外研修Ⅰ	金	月 仕事始め ○所内会議① 初興し	木 ○適応指導員募締切日 (報告書原稿提出②)	金
5 月		木	土	火 □2学期後半始業(小中給食無)	金	土
6 火		金 ○所外研修Ⅱ	日	水	土	日
7 水	○適応・1学期終業の会	土	月	木	日	月 (成果報告検討会PP資料提出①)
8 木	(所内教育相談研修会⑤)	日	火	金 ○適応・2学期後半始業の会	月 ○適応指導員面接	火
9 金	□1学期終業式	月	水	土	火	水 (いままじ保護者会①) (所内成果報告検討会①)
10 土	秋休み(～14日)	火	木 ○いままじ宿泊体験(1日目)	日	水 ○第2回 情報教育推進委員会 (所内研究報告書検討会②)	木 (所内教育相談研修会⑩)
11 日		水	金 ○いままじ宿泊体験(2日目)	月 成人の日	木 建国記念日	金
12 月	体育の日	木	土	火 ○所外研修Ⅳ	金	土 □中学校卒業式(中給食無)
13 火	○第44期 長期教育研究員入所日 ※いままじ休業日(～15日)	金 (中間報告会資料提出)	日	水 ○第4回研究協力員会	土 浦添市教育の日	日
14 水	○第44期 長期教育研究員入所式	土	月 ○所内会議⑩	木	日	月 (所内会議⑭) (成果報告検討会PP資料提出②) (成果報告書配布)
15 木	□2学期始業式 ○メンタルフレンド発足式 (全体ミーティング13:15～(係長、主事参加))	日	火	金	月 ○所内会議⑬ (報告書原稿提出③)	火
16 金		月 (所内中間報告検討会①)	水	土	火	水 (所内成果報告検討会②)
17 土		火	木	日	水 (所内研究報告書検討会③) (市内小中学校保護者交流会「てだこすなの会」⑬) (所内教育相談研修会⑨)	木 ○所内成果報告検討会③(最終) ○適応・平成27年度終了日 (成果報告書配布・PP資料配付)
18 日		水 ○いままじ保護者会⑦ (所内中間報告検討会②)	金	月	木 ○第2回研究所運営委員会	金
19 月	○所内会議⑧ ○適応・2学期始業の会 (テーマ検討会資料提出)	木 (所内中間報告検討会③)	土	火	金 (◆報告書最終原稿提出)	土
20 火		金 (各指導主事へ中間報告会資料配付)	日	水 ○IT指導員応募締切日	土	日 春分の日
21 水	○第2回研究協力員会	土	月	木 (所内教育相談研修会⑧)	日	月 振替休日
22 木	(所内テーマ検討会)	日	火 ○適応・2学期前半終業の会 ○いままじ保護者会⑧	金	月 (報告書原稿PDF丁合・点検)	火 □幼稚園修了式
23 金	(各指導主事へテーマ検討会資料配付)	月 勤労感謝の日	水 天皇誕生日	土	火 ○△教育相談事業報告会 (所内教育相談研修会⑩)	水 □小学校卒業式(小給食無) (成果報告会、修了式リハーサル)
24 土		火	木 (所内教育相談研修会⑦)	日	水 ◆平成27年度県学力到達度調査(小)	木 □小中学校修了式(小給食無 中給食無)
25 日		水 ○第44期 研究員中間報告会 ○市内小中学校保護者交流会「てだこすなの会」⑫ (所内教育相談研修会⑥)	金 □2学期前半終業 ○仕事納め	月 ○IT指導員採用面接	木 ○いままじ保護者会⑩ ◆平成27年度県学力到達度調査(中)	金 ○第44期 教育研究員成果報告会、修了式
26 月	○コンピュータ主任研②	木	土	火	金	土
27 火		金	日	水 ○情報教育推進委員会 事務局会	土	日
28 水	○第44期 研究員テーマ検討会 ○いままじ保護者会⑥	土	月 仕事納め	木 ○いままじ保護者会⑨	日	月 全体ミーティング13:15～(係長、主事参加)
29 木		日	火	金	月 □英語主任連絡会③ 15:00 801室 ○第2回研究所運営委員会 14:30	火 ○所外研修Ⅴ
30 金		月	水	土		水
31 土			木 大晦日	日		木

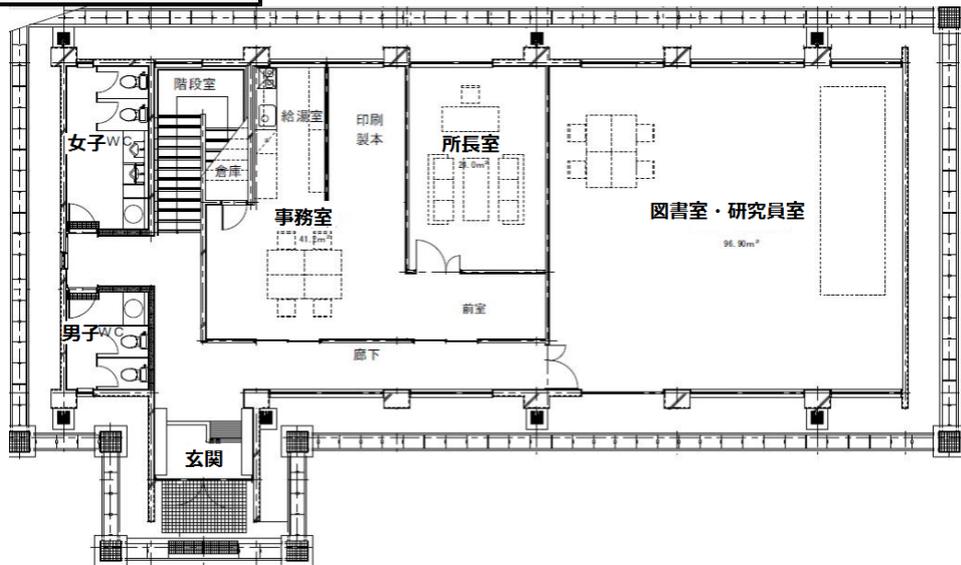


# 研究所案内図



# 研究所平面図

(1F)

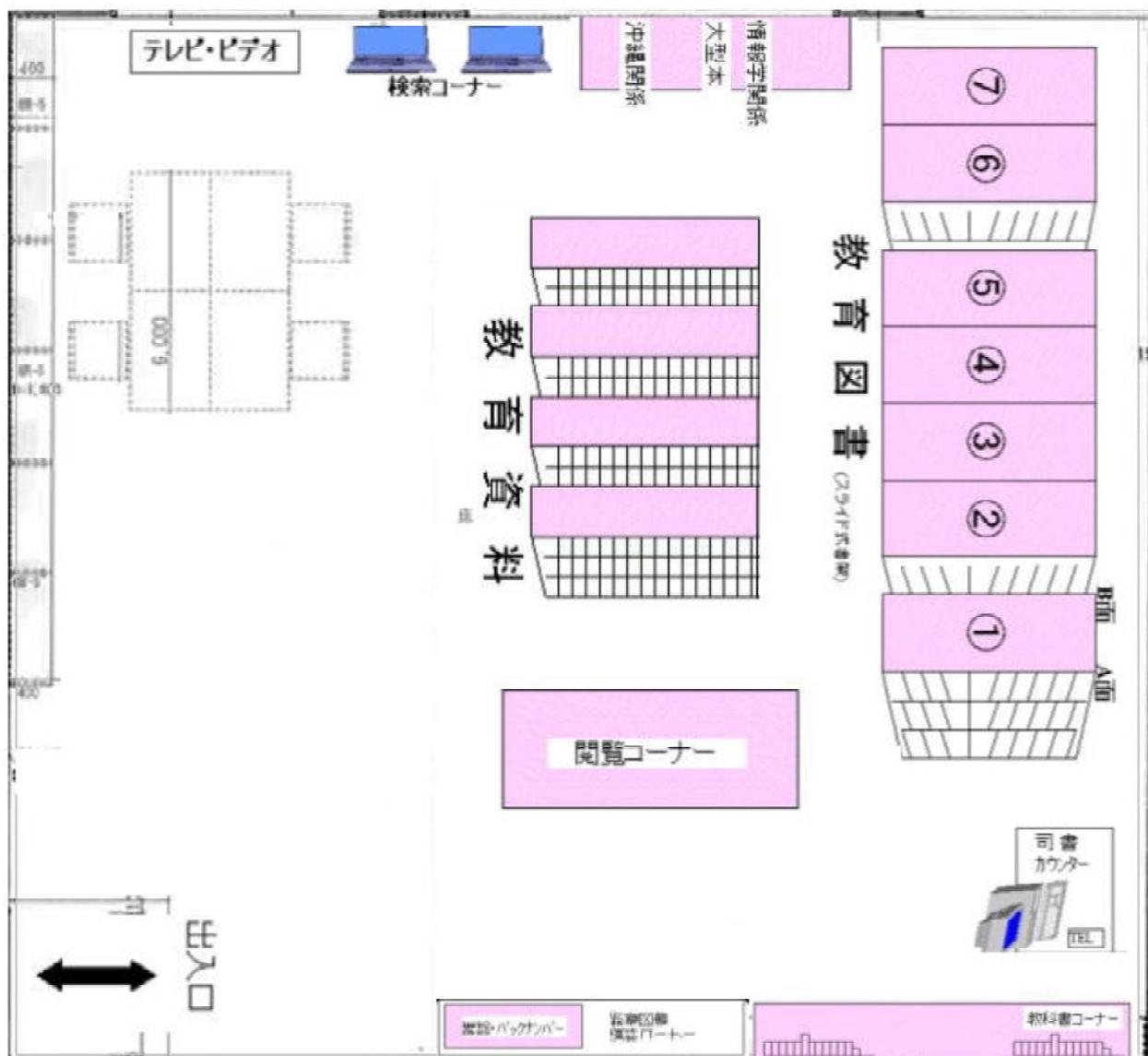


(2F)



## ★ 図書室はこんなところです

教育関係の図書、全国の各研究所や関係機関より寄贈頂いた資料を利用しやすいように分類・保存しています。日々の教育実践や研究・研修活動にどうぞご利用下さい。



要 覧

平成 27 年 4 月 発行

---

発行所 沖縄県浦添市立教育研究所  
所在地 〒901-2103 浦添市仲間2丁目47番3号  
電話 098 (876) 7522  
F A X 098 (876) 7222  
URL <http://www.urasoe.ed.jp/uraken/>  
E-mail [urakenO@urasoe.ed.jp](mailto:urakenO@urasoe.ed.jp)  
ゼロ

---